

## 「農山漁村に関する世論調査」の概要

令和3年9月  
内閣府政府広報室

調査対象	全国18歳以上の日本国籍を有する者 3,000人 有効回収数 1,655人（回収率 55.2%） （うち郵送 1,160人、インターネット 495人）
調査期間	令和3年6月24日～8月1日
調査方法	郵送法（郵送配布、郵送又はオンライン（インターネット回答）回収）
調査目的	農山漁村に関する国民の意識を把握し、今後の施策の参考とする。
調査項目	1 農村地域について 2 都市地域と農山漁村地域の交流、農山漁村地域への滞在などについて 3 農山漁村地域への移住について
調査実績	「食と農林漁業に関する世論調査」（平成30年9月） 「農山漁村に関する世論調査」（平成26年6月） 「都市と農山漁村の共生・対流に関する世論調査」（平成17年11月） 「食料・農業・農村の役割に関する世論調査」 （平成8年9月、平成20年9月） 「食生活・農村の役割に関する世論調査」 （昭和62年9月、平成2年10月、平成5年11月）
その他	1 新型コロナウイルス感染症の状況に鑑み、調査員と調査対象の方との接触を回避するため、郵送法で実施した。 2 平成30年9月調査までは調査員による個別面接聴取法で実施しているため、郵送法で実施した令和3年6月調査との単純比較は行わない。 また、平成27年度までは、調査対象の方の年齢が20歳以上であったが、平成28年度以降は18歳以上の方を調査対象に実施している。 3 図表の数値(%)は、表章単位未満の位で四捨五入しているため、内訳の合計が100にならないこともある。

1 農村地域について

(1) 農村地域の持つ役割に対する意識

問1 あなたは、農村地域の持つ役割の中で、どのようなものが特に重要だと思いますか。(〇はいくつでも)

(上位4項目)  
令和3年6月

- ・食料を生産する場としての役割 86.5%
- ・多くの生物が生息できる環境の保全や良好な景観を形成する役割 63.9%
- ・地域の人々が働き、かつ生活する場としての役割 60.7%
- ・水資源を貯え、土砂崩れや洪水などの災害を防止する役割 45.3%

(複数回答)

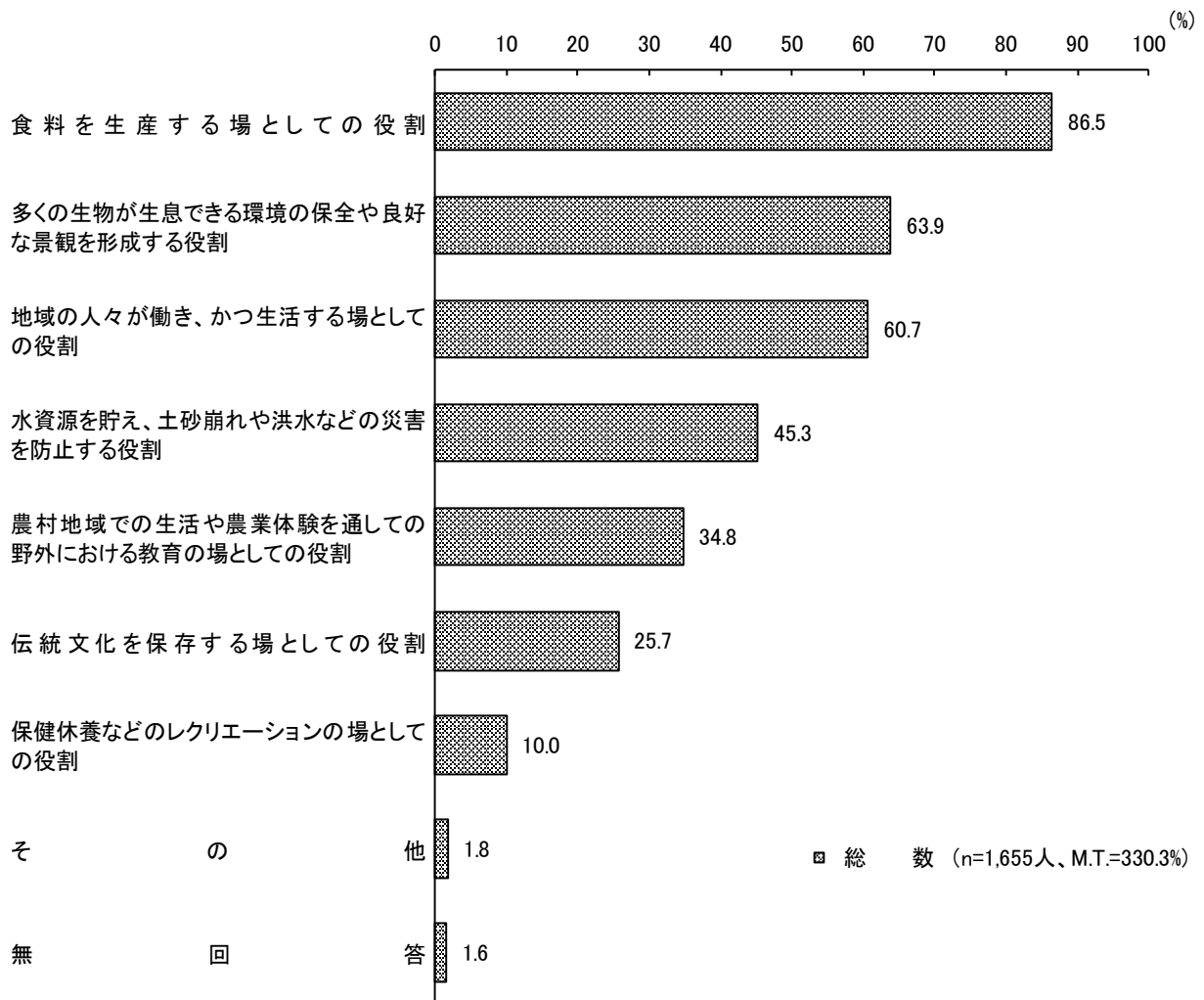


表1－参考 農村の持つ役割に対する意識

(複数回答)

	該 当 者 数	食 料 を 生 産 す る 場 と し て の 役 割	多 く の 生 物 が 生 息 で き る 環 境 の 保 全 や 良 好 な 景 観 を 形 成 す る 役 割	地 域 の 人 々 が 働 き 、 か つ 生 活 す る 場 と し て の 役 割	水 資 源 を 貯 え 、 土 砂 崩 れ や 洪 水 な ど の 災 害 を 防 止 す る 役 割	農 村 で の 生 活 や 農 業 体 験 を 通 し て の 野 外 に お け る 教 育 の 場 と し て の 役 割	伝 統 文 化 を 保 存 す る 場 と し て の 役 割	保 健 休 養 な ど の レ ク リ エ ー シ ョ ン の 場 と し て の 役 割	そ の 他	特 に な い	わ か ら な い	計 (M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平成20年9月調査	3,144	65.8	48.9	46.1	29.6	36.1	18.2	8.3	0.3	1.1	1.5	255.8
平成26年6月調査	1,880	83.4	49.8	48.7	32.5	30.1	22.4	9.8	0.1	0.7	1.3	278.6

(注1) 平成26年6月調査までは、「あなたは、農村の持つ役割の中で、どのようなものが特に重要だと思いますか。この中からいくつでもあげてください。」と聞いている。

(注2) 平成26年6月調査までは、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和3年6月調査との単純比較は行わない。

(2)「農業の多面的機能」の認知度

問2 農業には食料生産だけでなく、国土保全、雨水を土壤中へ蓄え、河川へ流れる量を安定させる機能、景観形成などの機能があり、これを「農業の多面的機能」といいます。あなたは、この「農業の多面的機能」という言葉を知っていましたか。(○は1つ)

令和3年6月

知っていた(小計)

28.6%

・知っていた

24.5%

・内容も知っていた

4.1%

・知らなかった

69.9%

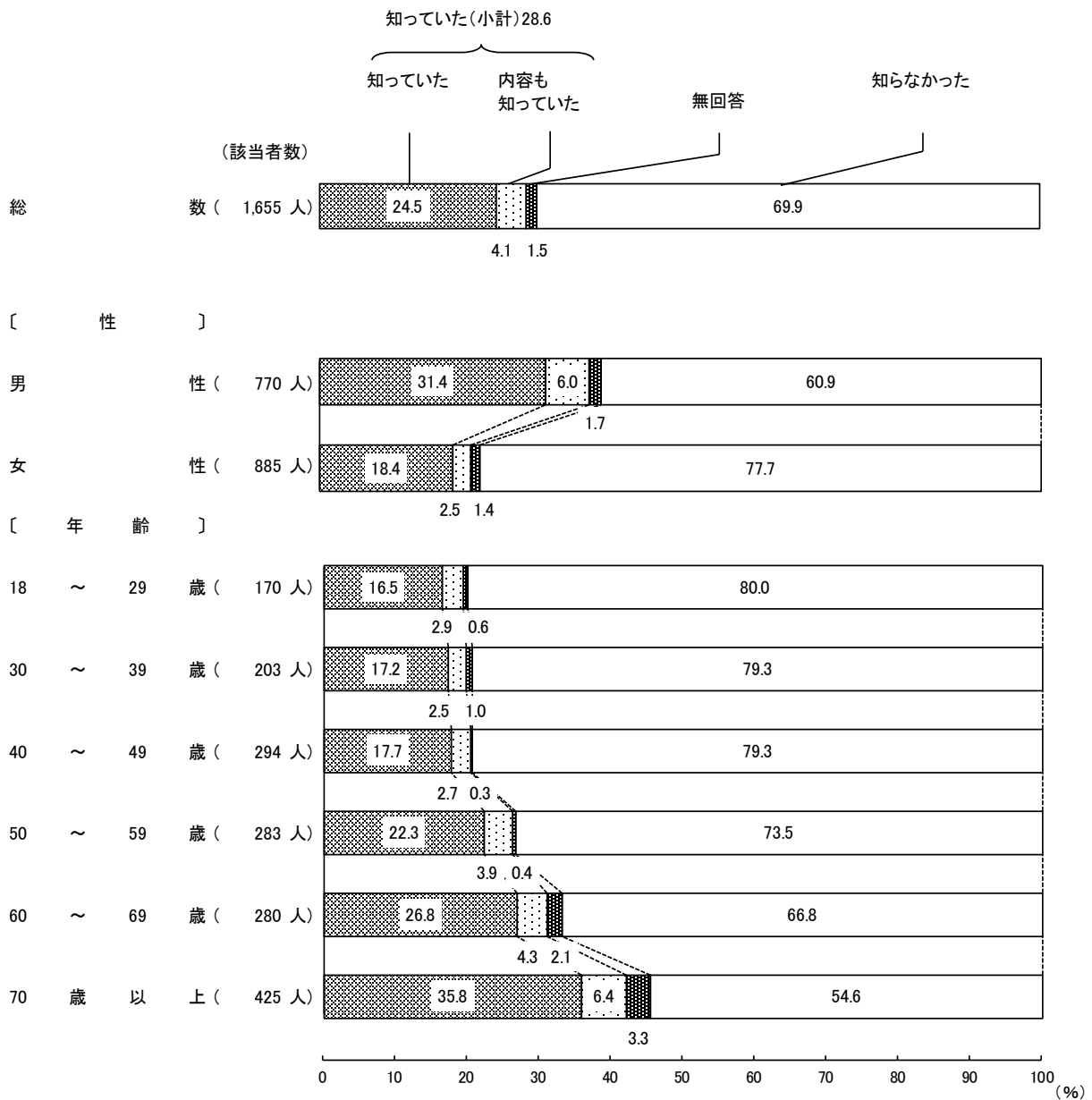


表2-参考 「農業の多面的機能」についての認知度

	該 当 者 数	知 聞 つ いた こ と が あ り、 内 容 も	ま 聞 い た こ と は あ る が、 内 容 ま で は 知 ら な い	聞 い た こ と が な い	わ か ら な い
	人	%	%	%	%
平成26年6月調査	1,880	19.9	26.8	52.8	0.5

(注) 平成26年6月調査は、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和3年6月調査との単純比較は行わない。

(3) 農業・農村地域への関わりに対する意識

問3 近年、我が国では農業の停滞、農村の過疎化・高齢化が進んでいます。農業の停滞や過疎化・高齢化などにより活力が低下した農村地域に対して、あなたは、どのように関わりたいと思いますか。(〇は1つ)

令和3年6月

- ・積極的にそのような地域(集落)に行き協力したい 4.6%
- ・機会があればそのような地域(集落)に行き協力してみたい 68.3%
- ・地域のことは地域で行うべきであり協力したいとは思わない 23.9%

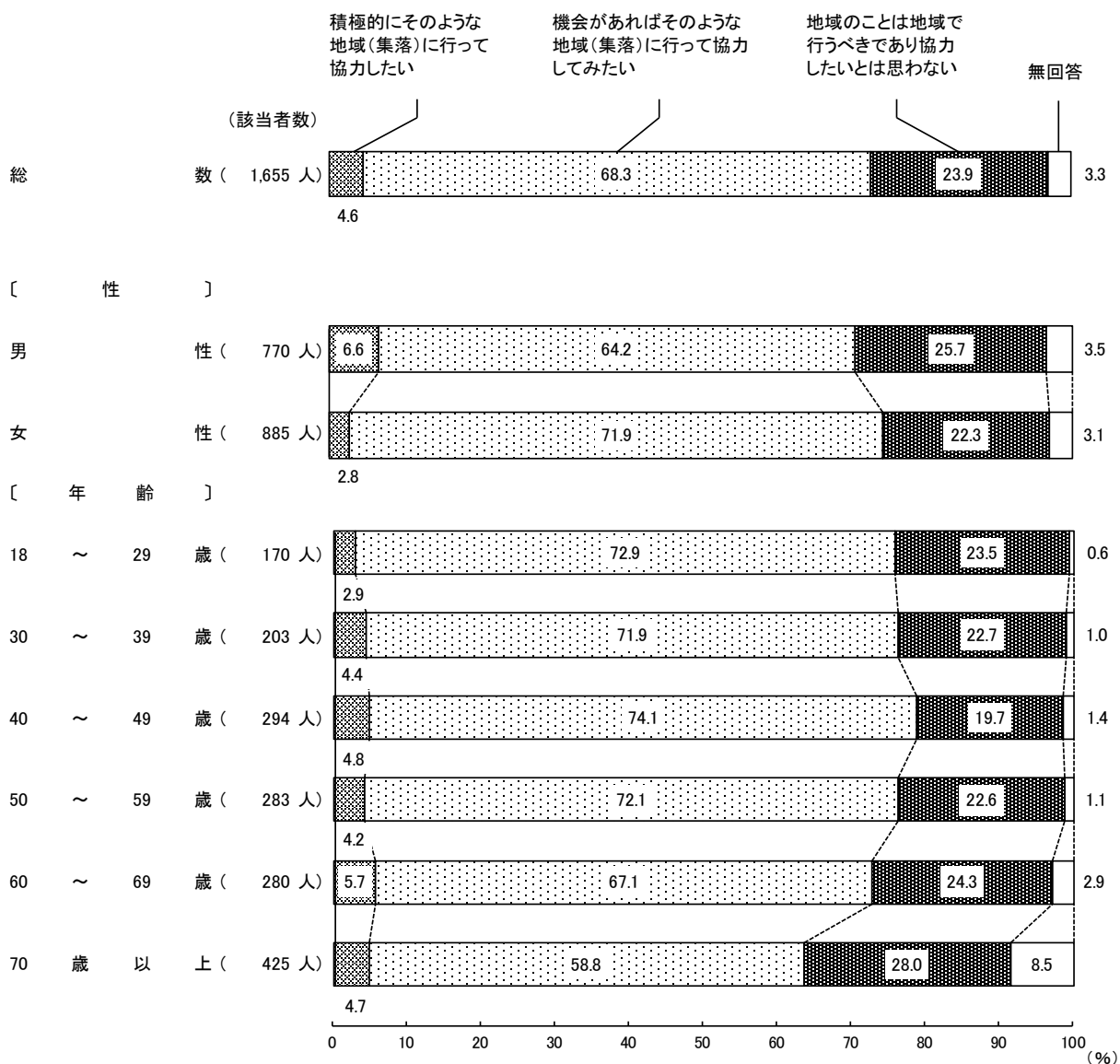


表3－参考 農業・農村の維持活動に対する意識

	該 当 者 数	積極的にそのような地域（集落）に行つて、農業や環境保全活動・お祭りなどの伝統文化の維持活動に協力したい	機会があればそのような地域（集落）に行つて、農業や環境保全活動・お祭りなどの伝統文化の維持活動に協力してみたい	地域のことは地域で行うべきであり、農業や環境保全活動・お祭りなどの伝統文化の維持活動に協力したいとは思わない	そ の 他	わ か ら な い
	人	%	%	%	%	%
平成20年9月調査	3,144	19.0	60.8	12.9	2.3	5.0
平成26年6月調査	1,880	18.3	54.5	20.1	0.6	6.5

(注1) 平成26年6月調査までは、「農業の停滞や過疎化・高齢化などにより活力が低下した農村地域に対して、あなたは、どのように関わりたいですか。この中から1つだけお答え下さい。」と聞いている。

(注2) 平成26年6月調査までは、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和3年6月調査との単純比較は行わない。

(4) 農業体験への関心

問4 あなたは、農村地域に滞在しなくともお住まいのお近くに、体験農園などの農業体験ができる施設ができたなら、行きたいと思いますか。農村地域にお住まいの方は、お住まいの農村地域でそのような施設に行きたいと思いますかと読み替えてお答えください。(○は1つ)

令和3年6月

行きたい (小計)

- ・行きたい
- ・どちらかというに行きたい

61.3%

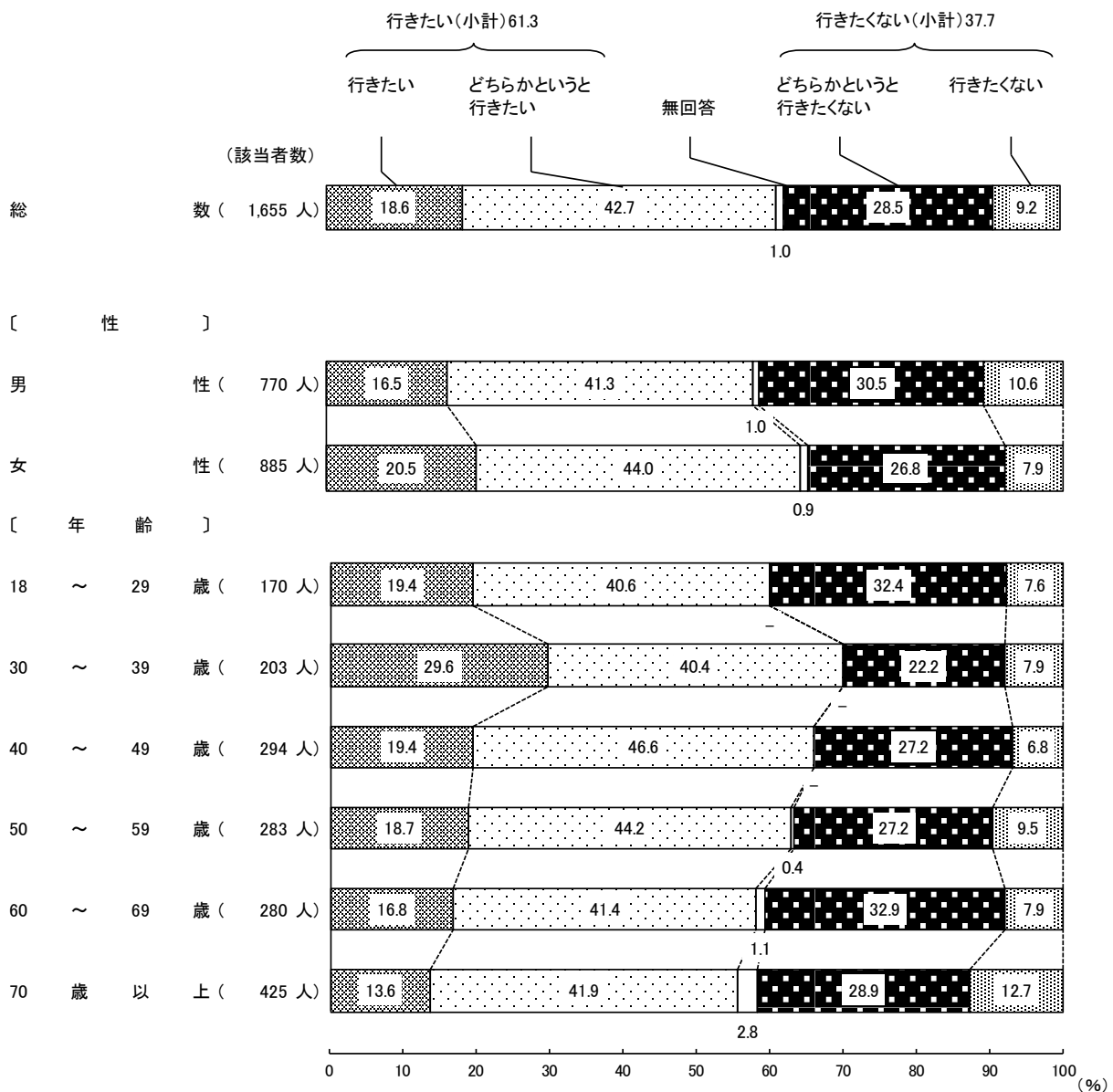
行きたくない (小計)

- ・どちらかというに行きたくない
- ・行きたくない

37.7%

28.5%

9.2%





2 都市地域と農山漁村地域の交流、農山漁村地域への滞在などについて

(1) 都市地域と農山漁村地域の交流の必要性

問5 この調査でいう「農山漁村地域」とは、周辺に農地や森林が広がり、農林漁業が盛んな地域をいいます。「都市地域」とは農林漁村地域以外の地域をいいます。あなたは、都市地域と農山漁村地域の間で相互に理解を深めるために、両者の間で交流を進めることが必要だと思いますか。(〇は1つ)

令和3年6月

<u>必要である(小計)</u>	<u>90.5%</u>
・必要である	45.6%
・どちらかという必要である	44.8%
<u>必要ない(小計)</u>	<u>8.9%</u>
・どちらかという必要ない	7.3%
・必要ない	1.6%

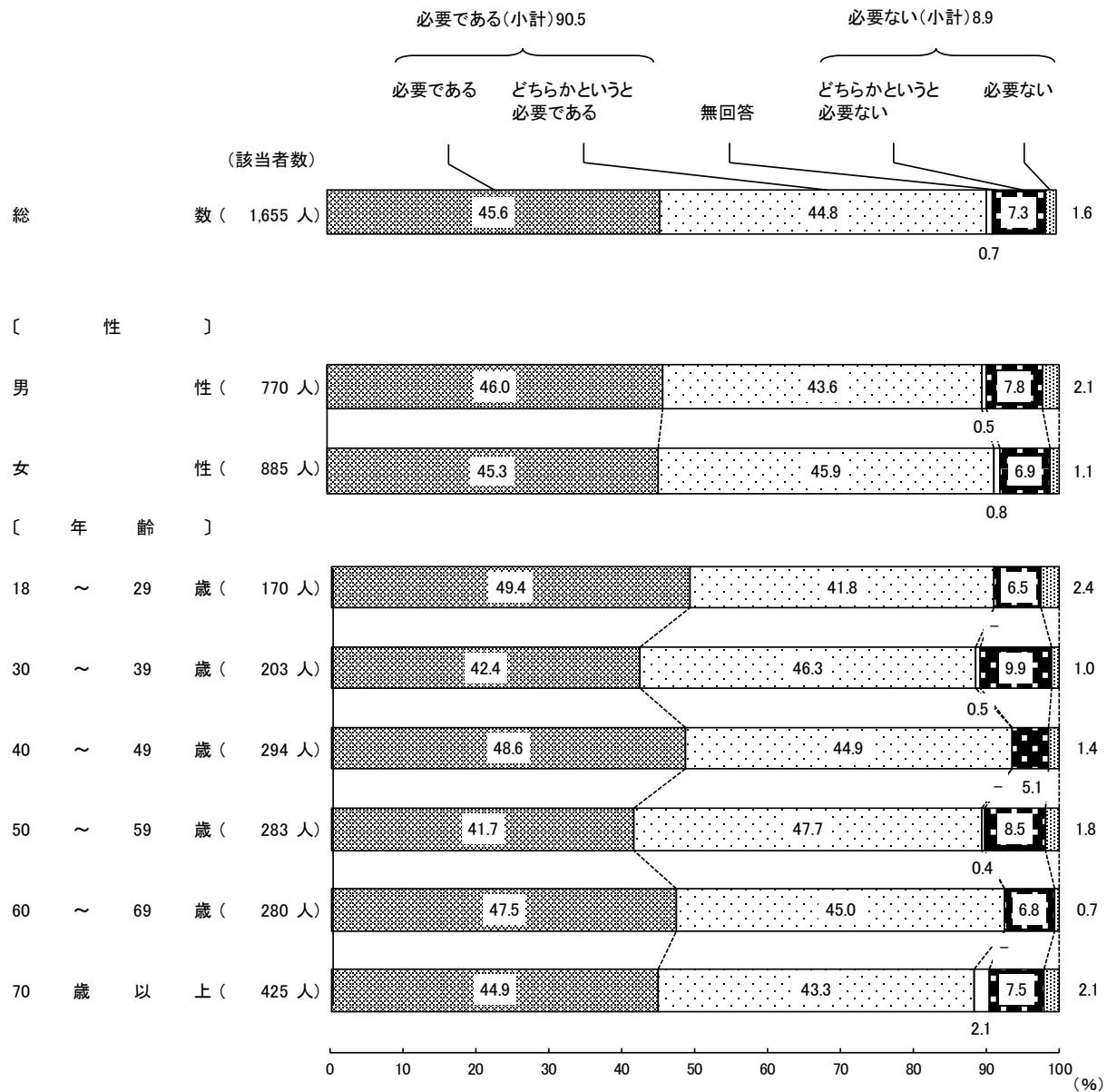


表5－参考 都市地域と農山漁村地域の交流の必要性

	該 当 者 数	必 要 で (小 あ 計 る)	必 要 で あ る		ど ち ら か と い う と 必 要 で あ る	必 要 (小 計 い)	ど ち ら か と い う と 必 要 な い		必 要 な い	ど ち ら か と も い え な い	わ か ら な い
			必 要 で あ る	ど ち ら か と い う と 必 要 で あ る			ど ち ら か と い う と 必 要 な い	必 要 な い			
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平成17年11月調査	1,746	78.4	49.4	28.9	7.7	4.2	3.4	7.0	6.9		
平成26年6月調査	1,880	89.9	56.5	33.4	6.8	4.2	2.6	1.8	1.5		

(注1) 平成17年11月調査では、質問前に資料を提示している。

(注2) 平成26年6月調査までは、「あなたは、都市地域と農山漁村地域の間で相互に理解を深めるために、両者の間で交流を進めることが必要だと思いますか。それとも必要ないと思いますか。この中から1つだけお答えください。」と聞いている。

(注3) 平成26年6月調査までは、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和3年6月調査との単純比較は行わない。

(2)「農泊」の認知度

問6 「農泊」とは、農山漁村地域に宿泊し、滞在中に豊かな地域資源を活用した食事や体験などを楽しむ「農山漁村滞在型旅行」のことをいいます。あなたは、「農泊」の意味を知っていましたか。(〇は1つ)

令和3年6月

- ・意味を知っていた 33.5%
- ・意味を誤解していた 2.2%
- ・意味を知らなかったが、言葉だけは聞いたことはあった 20.8%
- ・意味を知らず、言葉も聞いたことはない 43.1%

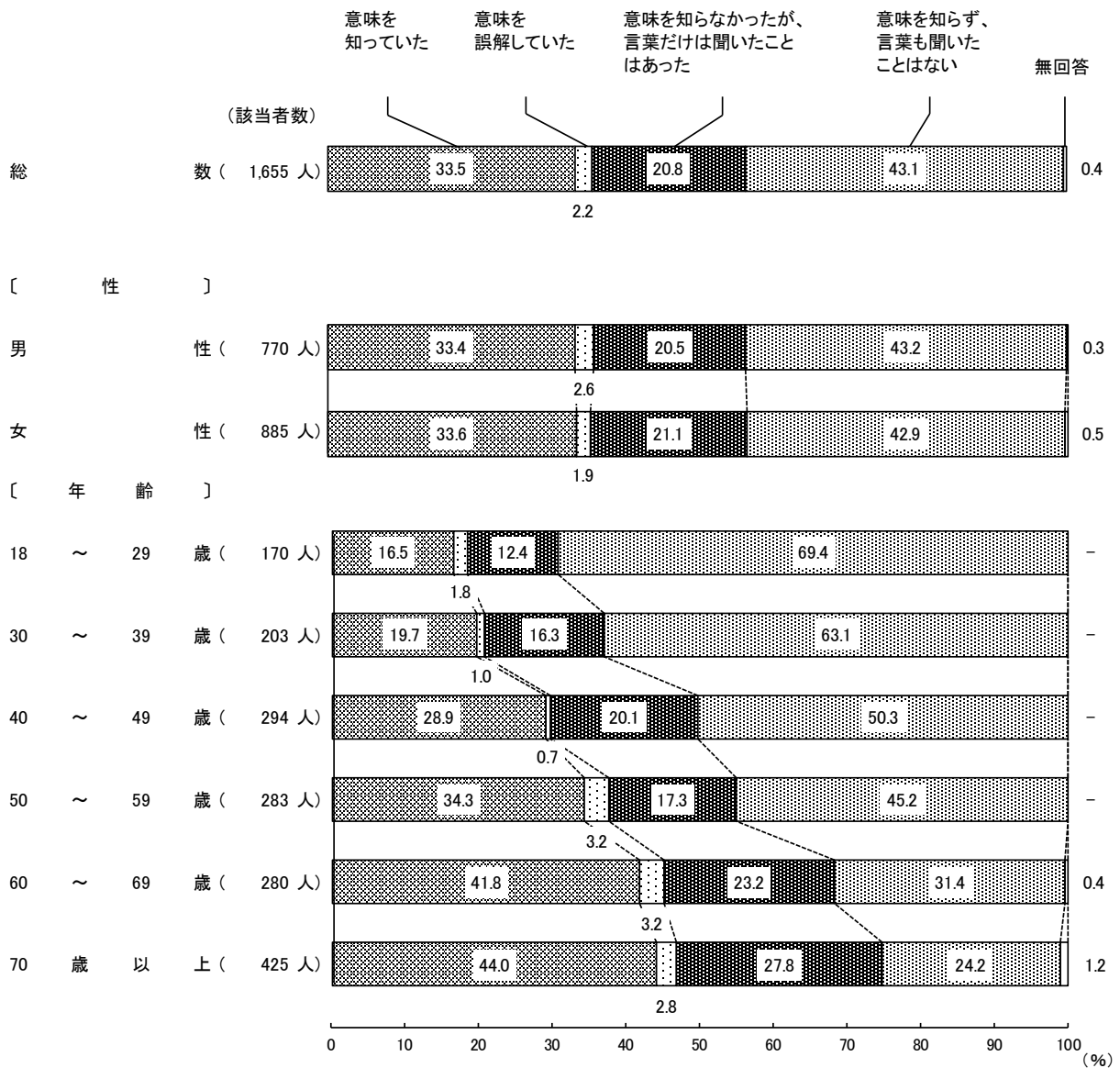


表6－参考 「農泊」の認知度

	該 当 者 数	意 味 を 知 っ て い た	意 味 を 誤 解 し て い た	だ け は 聞 い た こ と は あ っ た	意 味 を 知 ら な か っ た が 、 言 葉 も 聞 い た こ と は な い	わ か ら な い
	人	%	%	%	%	%
平成30年9月調査	1,743	25.5	1.5	15.8	55.2	1.9

(注1) 平成30年9月調査では、質問前に資料を提示している。

(注2) 平成30年9月調査では、「あなたは、「農泊」の意味を知っていましたか。この中から1つだけお答えください。」と聞いている。

(注3) 平成30年9月調査では、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和3年6月調査との単純比較は行わない。

(3) 農山漁村地域で宿泊したい施設

問7 あなたは、農山漁村地域に一時滞在する場合、どのような施設に宿泊したいと思いますか。農山漁村地域にお住まいの方は、お住まい以外の農山漁村地域に滞在するものとしてお答えください。(〇はいくつでも)

(上位4項目)  
令和3年6月

・ホテル・旅館	43.0%
・ペンション・一般の民宿	42.4%
・農家(漁家)民宿	37.7%
・公共の宿泊施設	37.4%

(複数回答)

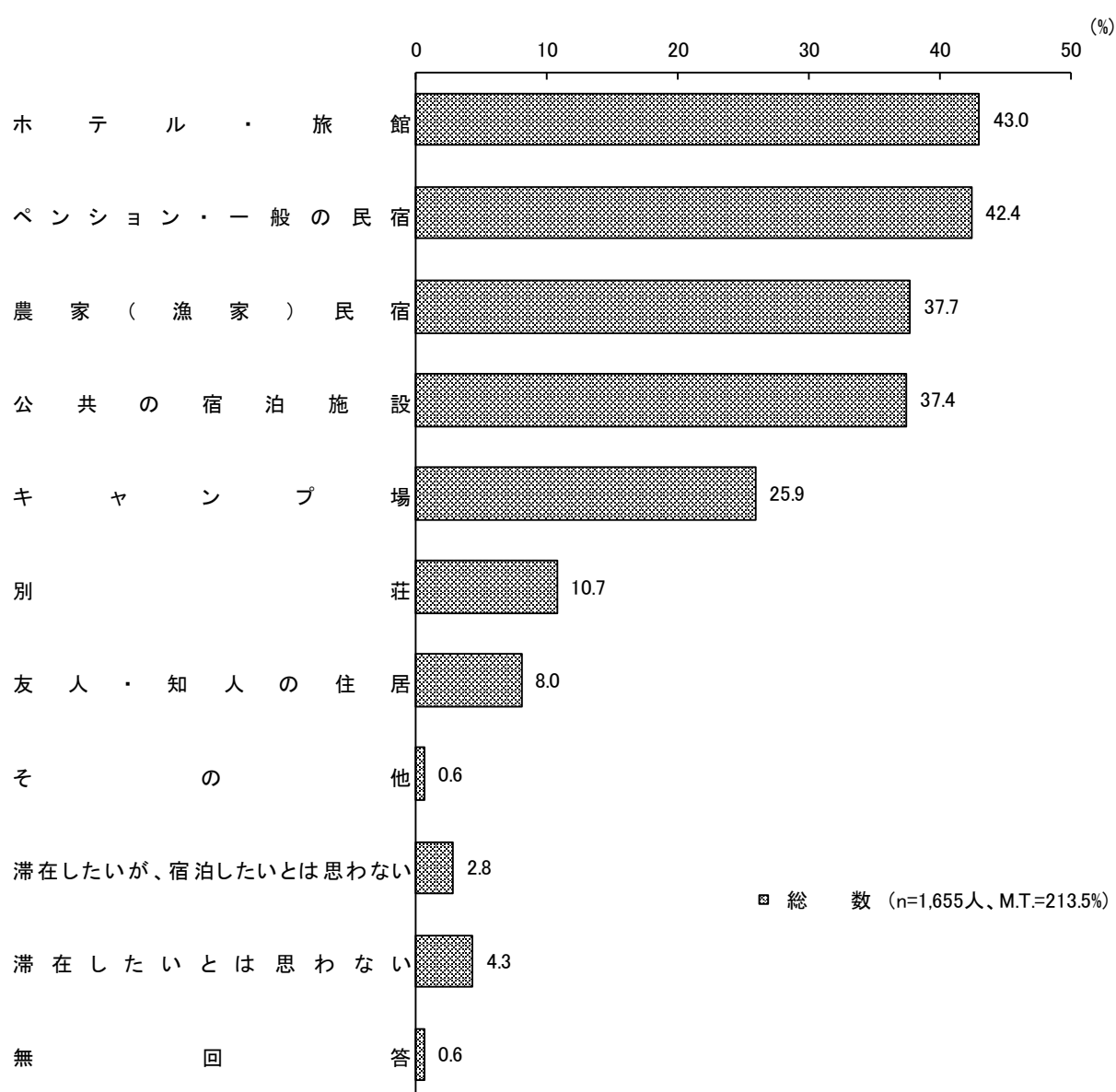


表7－参考1 農山漁村に滞在するような旅行で宿泊したい施設

(農山漁村に滞在するような旅行を「今後旅行してみたい(小計)」とする者に、複数回答)

	該 当 者 数	古 民 家 ・ 廃 校 な ど を 改 修 し た 宿 泊 施 設 # 1 設	一 般 の ホ テ ル ・ 旅 館 (# 1、 2 を 除 く)	農 家 ・ 漁 家 民 宿 # 2 宿	一 般 の 民 宿 ・ ペ ン シ ヨ ン (# 1、 2 を 除 く)	公 共 の 宿 泊 施 設	キ ャ ン プ 場	そ の 他	特 に な い	わ か ら な い	計 (M.T.) %
平成30年9月調査	人 821	% 42.5	% 39.2	% 35.0	% 29.2	% 19.5	% 11.8	% 0.6	% 1.0	% 3.7	% 182.5

(注1) 平成30年9月調査では、「あなたは、農山漁村に旅行する場合、どのような施設に泊まってみたいですか。この中からいくつでもあげてください。」と聞いている。

(注2) 平成30年9月調査までは、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和3年6月調査との単純比較は行わない。

表7－参考2 農山漁村地域で宿泊したい施設

(複数回答)

	該 当 者 数	農 家 ( 漁 家 ) 民 宿	ペ ン シ ヨ ン ・ 一 般 の 民 宿	公 共 の 宿 泊 施 設	ホ テ ル ・ 旅 館	キ ャ ン プ 場	友 人 ・ 知 人 の 住 居	滞 在 し た い と は 思 わ な い	別 荘	は 滞 在 し た い が 、 宿 泊 し た い と 思 わ な い	そ の 他	わ か ら な い	計 (M.T.) %
平成26年6月調査	人 1,880	% 48.7	% 35.9	% 33.7	% 23.7	% 19.9	% 12.4	% 5.9	% 5.3	% 1.9	% 0.2	% 0.7	% 188.4

ア 農山漁村地域に滞在中の過ごし方

(問7で「ホテル・旅館」、「ペンション・一般の民宿」、「農家(漁家)民宿」、「友人・知人の住居」、「キャンプ場」、「公共の宿泊施設」、「別荘」、「その他」、「滞在したいが、宿泊したいと思わない」と答えた方(1,574人)に)

問8 農山漁村地域に滞在中、何をして過ごしたいですか。農山漁村地域にお住まいの方は、お住まい以外の農山漁村地域に滞在するものとしてお答えください。(〇はいくつでも)

(上位4項目)  
令和3年6月

- ・温泉 55.8%
- ・その地域の名物料理を食べる 55.0%
- ・星空、ほたる観察 46.1%
- ・観光地めぐり 45.4%

〔農山漁村地域に一時滞在中の場合、宿泊したい施設を挙げた者、または「滞在したいが、宿泊したいと思わない」と答えた者に、複数回答〕  
(%)

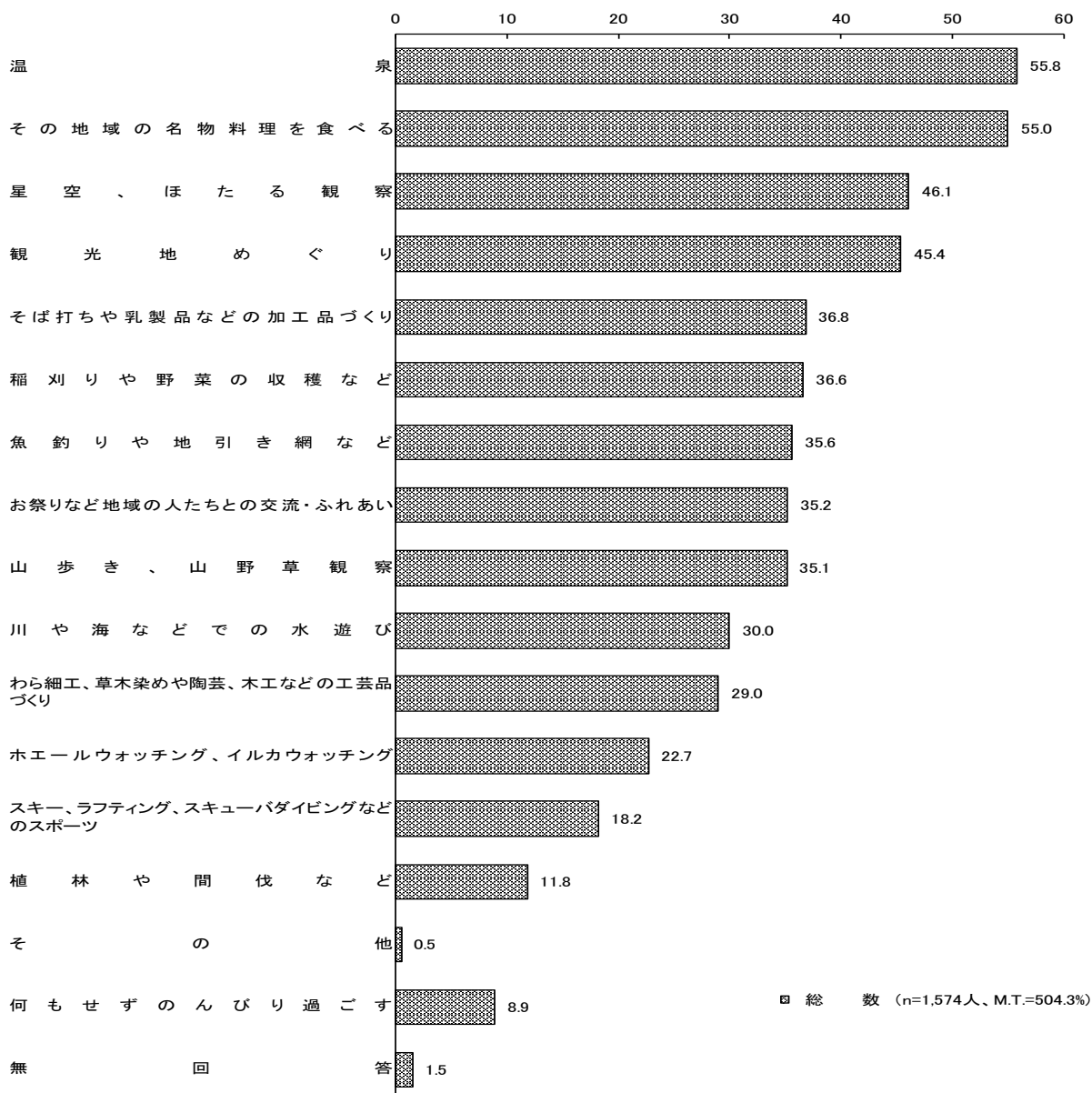


表8-参考1 農山漁村に滞在するような旅行で興味があること

(農山漁村に滞在するような旅行を「今後旅行してみたい(小計)」とする者に、複数回答)

	該 当 者 数	自然・風景 (山、川、海、棚田など)	温 泉 で の 休 養	地 域 の 特 産 品 を 使 っ た 食 事	お 祭 り ・ 伝 統 芸 能 な ど の 地 域 文 化	史 跡 ・ 神 社 な ど の 文 化 財	地 域 の 特 産 品 を 買 う こ と	農 林 漁 業 体 験 ( 稲 刈 り 体 験 、 取 穫 体 験 、 地 引 き 網 体 験 な ど)	地 域 の 人 と の 交 流	農 家 ・ 漁 家 民 宿 に 泊 ま る こ と	サ イ ボ ー ク リ ン グ な ど	そ の 他	特 に な い	わ か ら な い	計 ( M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平成30年9月調査	821	58.7	53.5	52.0	40.1	34.0	30.3	27.5	26.6	24.0	14.0	0.2	0.5	0.2	361.6

(注1) 平成30年9月調査では、「あなたが、今後旅行してみたいと思ったのは、どのようなことに興味があるからですか。

この中からいくつでもあげてください。」と聞いている。

(注2) 平成30年9月調査までは、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和3年6月調査との単純比較は行わない。

表8-参考2 農山漁村地域に滞在中行いたい活動

平成17年11月調査では、居住地域について「都市地域」、「どちらかというと都市地域」と答えた者に、複数回答  
平成26年6月調査では、農山漁村地域に一時滞在する場合、宿泊したい施設を挙げた者、または「滞在したいが、宿泊したいとは思わない」と答えた者に、複数回答

	該 当 者 数	そ の 地 域 の 名 物 料 理 を 食 べ る	稲 刈 り や 野 菜 の 取 穫 な ど	山 歩 き 、 山 野 草 観 察	地 域 の 人 た ち と の 交 流 ・ ふ れ あ い	温 泉	魚 釣 り や 地 引 き 網 な ど	星 空 、 ほ た る 観 察	観 光 地 め ぐ り	そば 打 ち や 乳 製 品 な ど の 加 工 品 づ く り	工 芸 品 づ く り 、 草 木 染 め や 陶 芸 、 木 工 等 の	チ ホ ン グ ・ ル ウ オ ッ チ ン グ 、 イ ル カ ウ オ ッ	植 林 や 間 伐 な ど	何 も せ ず の ん び り 過 ご す	ス キ ー 、 水 泳 な ど の ス ポ ー ツ	そ の 他	わ か ら な い	計 ( M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平成17年11月調査	975	30.5	18.7	40.9	19.5	58.1	22.1	21.9	41.9	19.1	13.7	9.8	4.4	3.9	16.4	0.3	1.8	323.1
平成26年6月調査	1,751	45.8	44.4	42.5	40.6	39.9	38.1	37.1	33.6	32.8	23.9	17.1	15.1	13.3	13.0	0.1	0.6	437.9

(注1) 平成17年11月調査では、「あなたは、農山漁村地域に滞在中、何をしておきたいですか。この中からいくつでもあげてください。」と聞いている。

(注2) 平成26年6月調査では、「あなたは、農山漁村地域に滞在中、何をしておきたいですか。この中からいくつでもあげてください。農山漁村地域にお住まいの方は、お住まい以外の農山漁村地域に滞在するものとしてお答えください。」と聞いている。

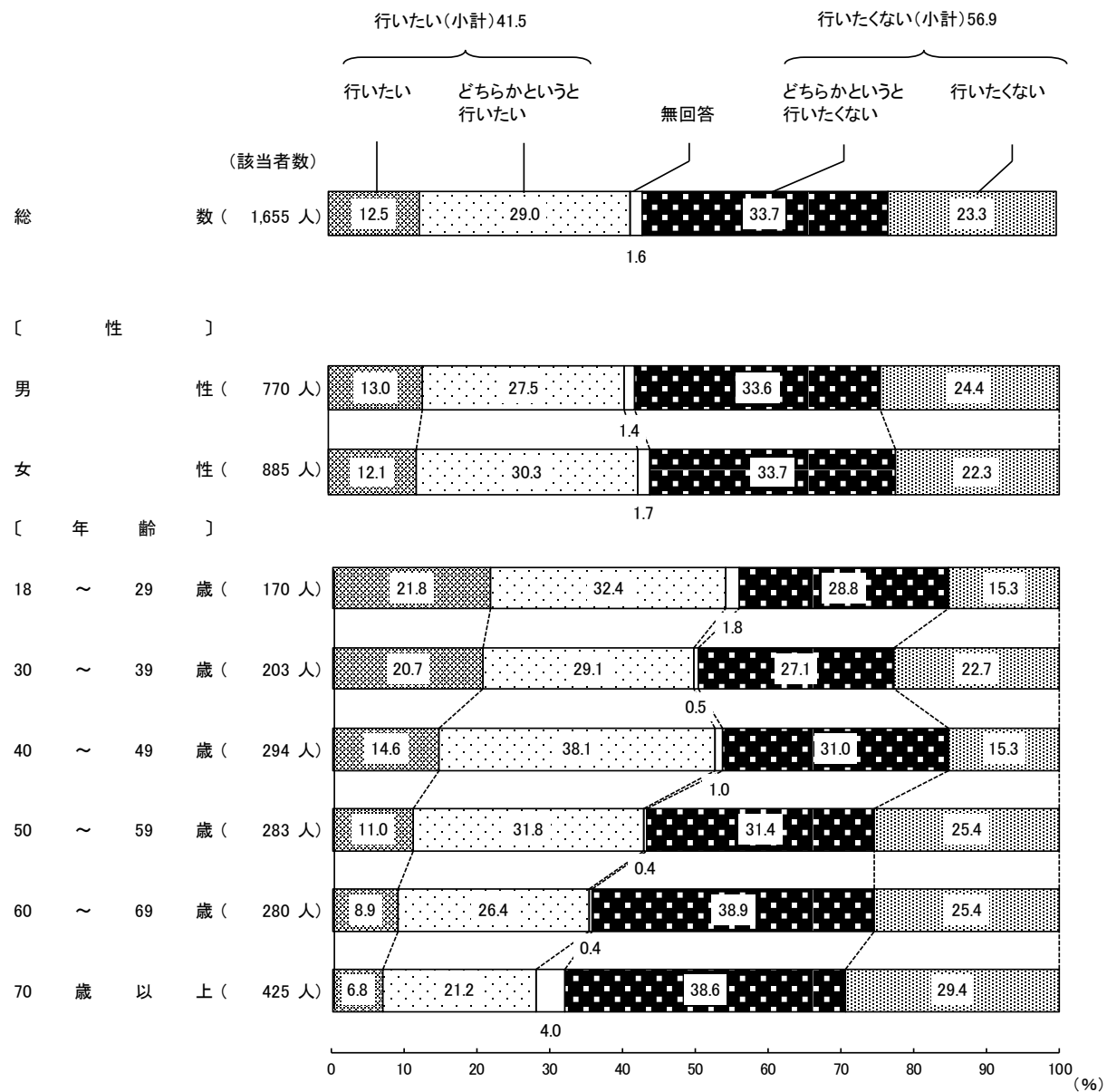


(4) 農山漁村地域でのワーケーションへの関心

問9 「ワーケーション」とは、ワーク（仕事）とバケーション（休暇）を組み合わせたもので、リゾート地や帰省先などでパソコンなどを使って仕事することをいいます。あなたは、新型コロナウイルス感染症をきっかけに、農山漁村地域でワーケーションを行いたいと思いますか。農山漁村地域にお住まいの方は、お住まい以外の農山漁村地域でワーケーションを行いたいと思いますかと読み替えてお答えください。（○は1つ）

令和3年6月

行いたい（小計）	41.5%
・行いたい	12.5%
・どちらかというに行いたい	29.0%
行いたくない（小計）	56.9%
・どちらかというに行いたくない	33.7%
・行いたくない	23.3%



### 3 農山漁村地域への移住について

#### (1) 居住地域の認識

問 10 あなたがお住いの地域は都市地域だと思いますか。それとも農山漁村地域だと思いますか。(○は1つ)

令和3年6月

#### 都市地域 (小計)

・都市地域

・どちらかという都市地域

#### 農山漁村地域 (小計)

・どちらかという農山漁村地域

・農山漁村地域

62.6%

29.5%

33.1%

36.9%

23.9%

13.0%

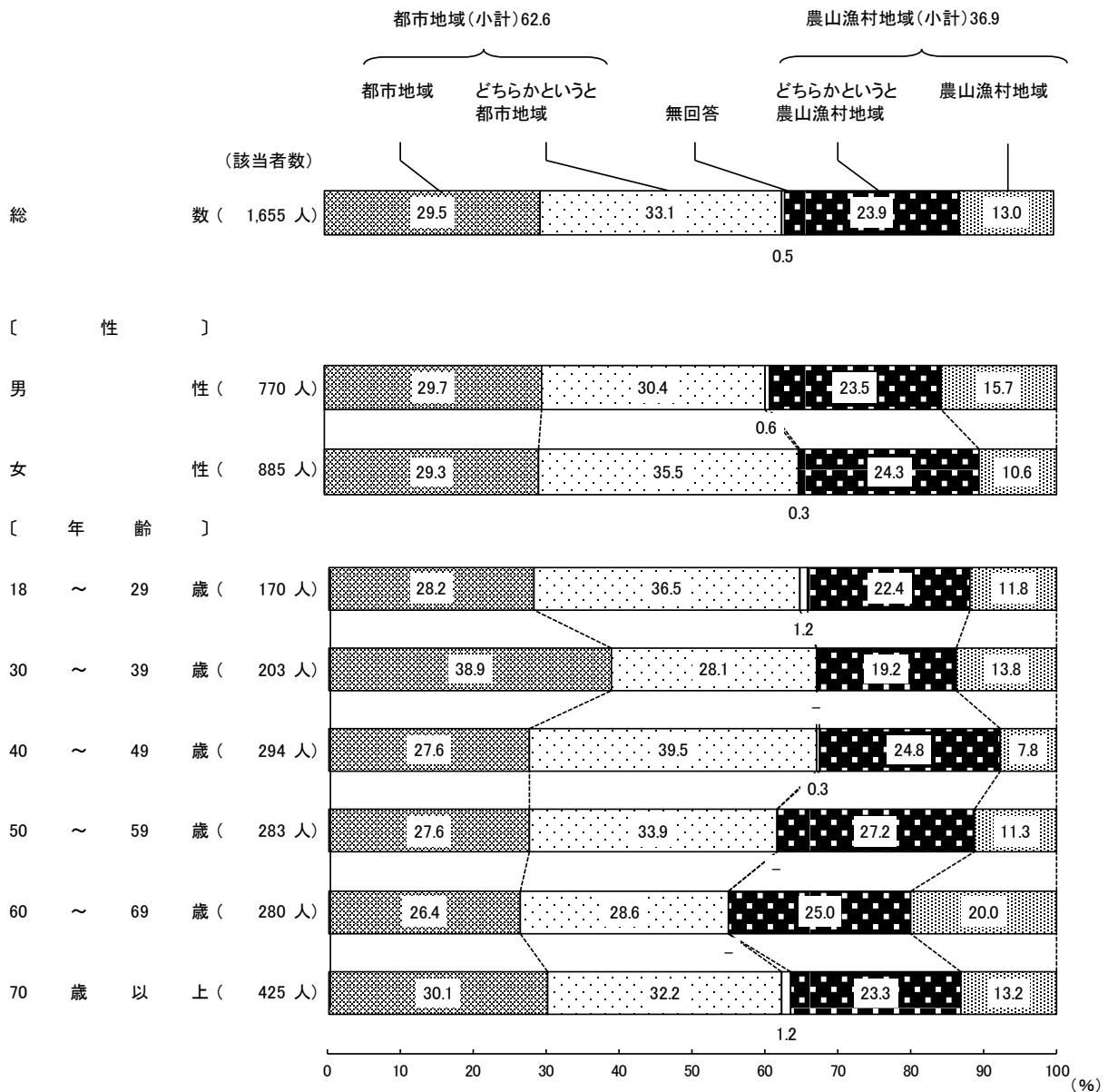


表10－参考 居住地域に関する認識

	該 当 者 数	都 市  ( 地 小 計 ) 域	都	ど	農	ど	農	そ の 他	ど ち ら と も い え な い	わ か ら な い
			市 地 域	ち ら か と い う と 都 市 地 域	山 漁  ( 村 小 地 計 ) 域	ち ら か と い う と 農 山 漁 村 地 域	山 漁 村 地 域			
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平成17年11月調査	1,746	55.8	23.9	32.0	36.7	20.7	16.0	0.2	6.5	0.7
平成26年6月調査	1,880	61.0	23.9	37.1	37.2	21.8	15.4	-	1.6	0.2

(注1) 平成17年11月調査では、「あなたがお住まいの地域は、都市地域だと思いますか。それとも農山漁村地域だと思いますか。この中から1つだけお答えください。」と聞いている。

(注2) 平成26年6月調査では、「あなたがお住まいの地域は、都市地域だと思いますか。それとも農山漁村地域だと思いますか。この中から1つだけお答えください。イメージとして、農山漁村地域は周辺に農地や森林が広がり、農林漁業が盛んな地域であり、都市地域はそれ以外の地域です。」と聞いている。

(注3) 平成26年6月調査までは、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和3年6月調査との単純比較は行わない。

ア 都市住民の農山漁村地域への移住願望の有無

(問 10 で「都市地域」、「どちらかという都市地域」と答えた方 (1,036 人) に)

問 11 農山漁村地域に移住してみたいという願望がありますか。この調査でいう移住とは、都市地域から農山漁村地域に生活の拠点を移す定住及び都市地域と農山漁村地域の両方に生活拠点を持つ二地域居住のことをいいます。(〇は1つ)

令和3年6月

ある (小計)	26.6%
・ある	5.7%
・どちらかというとある	20.9%
ない (小計)	72.6%
・どちらかというかない	39.1%
・ない	33.5%

(居住地域の認識について「都市地域」、「どちらか」というと都市地域」と答えた者に)

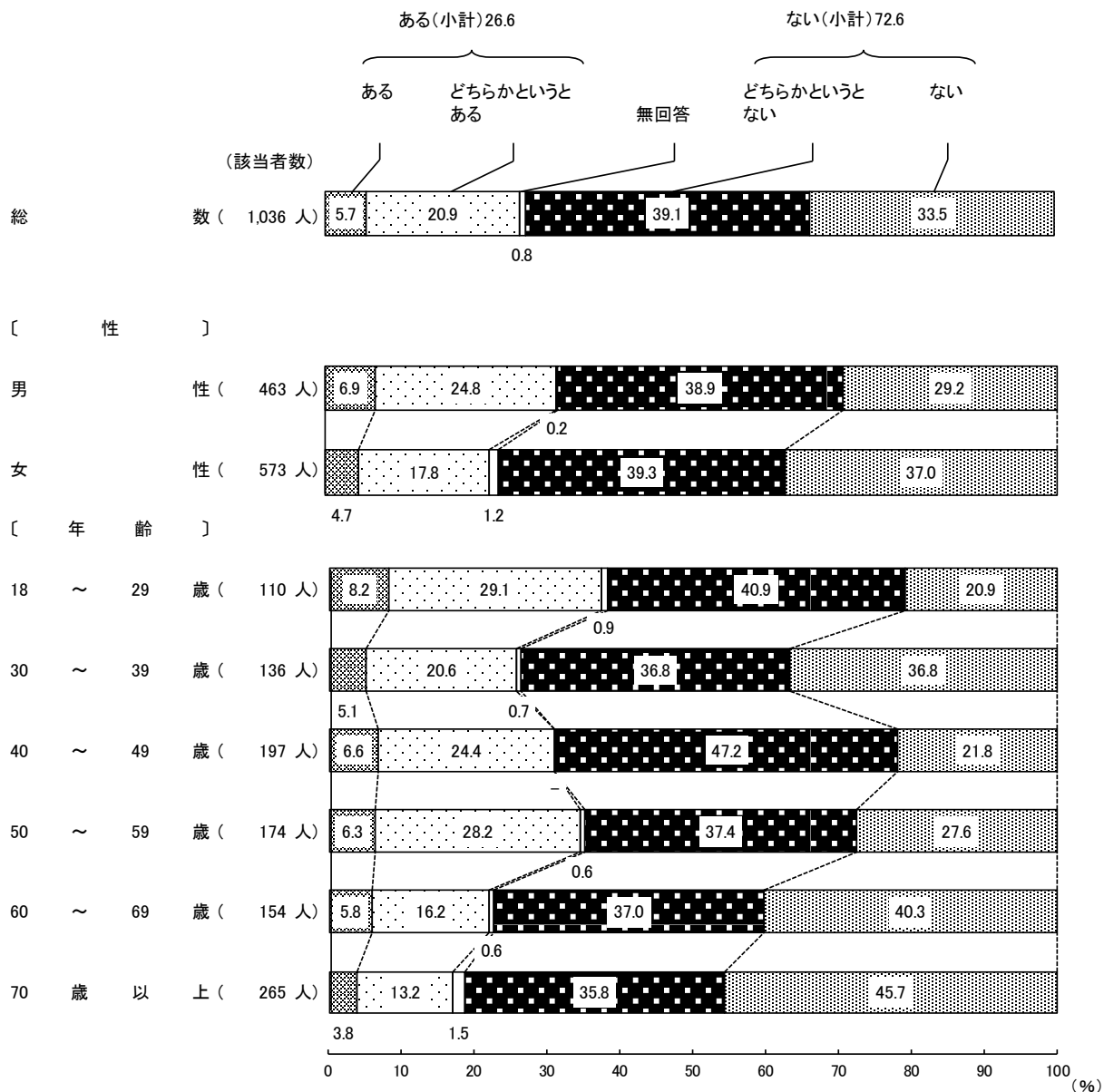


表11－参考 都市住民の農山漁村地域への定住願望の有無

(居住地域に関する認識について「都市地域」、「どちらかという都市地域」と答えた者に)

	該 当 者 数	あ			な			ど ち ら と も い え な い	わ か ら な い
		(小計) る	あ る	ど ち ら か と い う と あ る	(小計) い	ど ち ら か と い う と な い	な い		
	人	%	%	%	%	%	%	%	
平成17年11月調査	975	20.6	8.9	11.7	76.0	13.9	62.1	3.0	0.4
平成26年6月調査	1,147	31.6	8.8	22.8	65.2	29.6	35.7	2.4	0.9

(注1) 平成26年6月調査までは、「あなたは、農山漁村地域に定住してみたいという願望がありますか。この中から1つだけお答えください。」と聞いている。

(注2) 平成26年6月調査までは、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和3年6月調査との単純比較は行わない。

## イ 農山漁村地域への移住願望の新型コロナウイルス感染症の影響

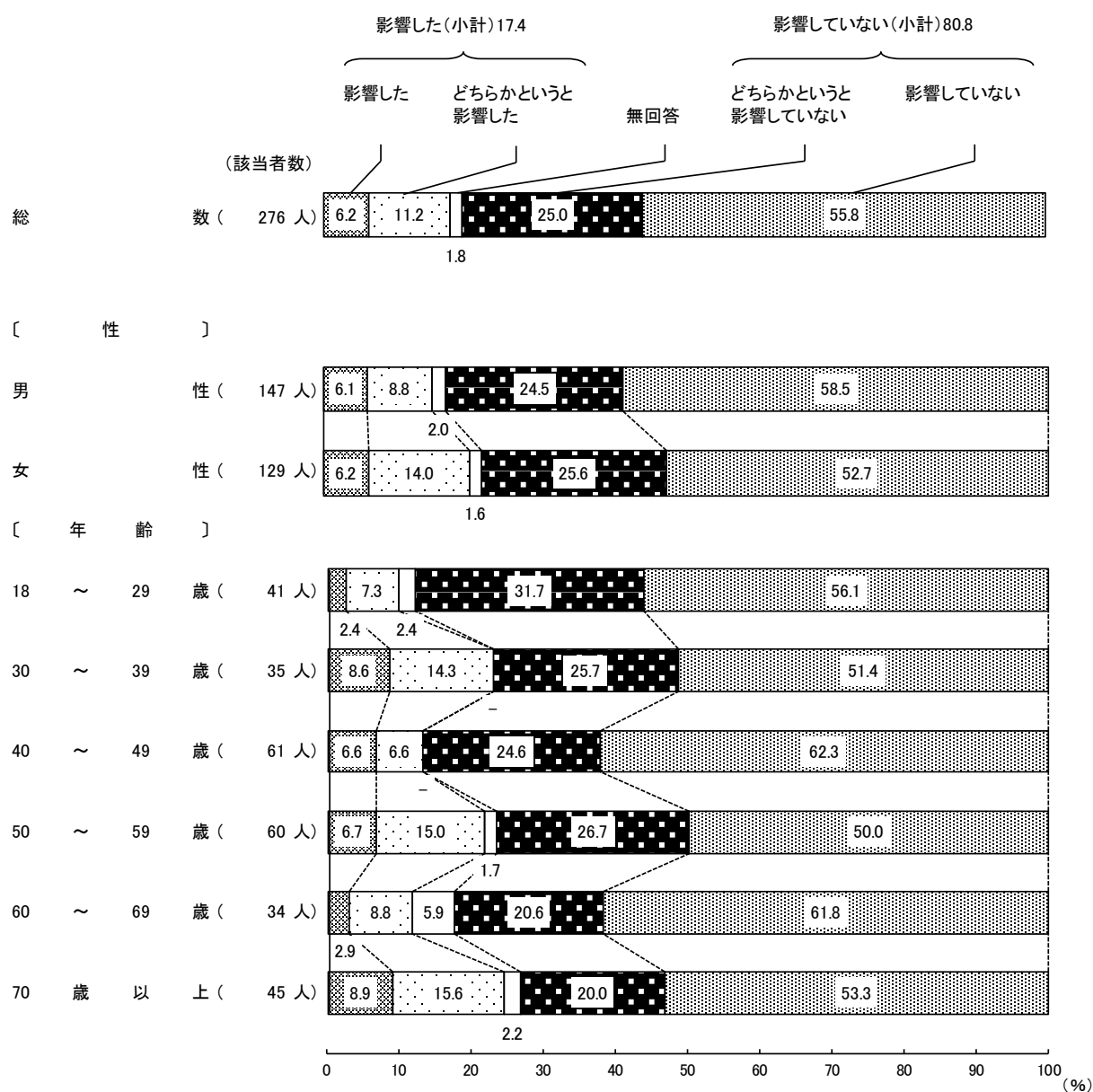
(問 11 で「ある」、「どちらかという」と答えた方 (276 人) に)

問 12 移住したいという願望は、今回の新型コロナウイルス感染症が影響しましたか。(○は 1 つ)

令和 3 年 6 月

影響した (小計)	17.4%
・ 影響した	6.2%
・ どちらかという と 影響した	11.2%
影響していない (小計)	80.8%
・ どちらかという と 影響していない	25.0%
・ 影響していない	55.8%

〔農山漁村地域に移住してみたいという願望が「ある」、  
「どちらかという」と答えた者に〕



ウ 農山漁村地域への移住実現の時期

(問11で「ある」、「どちらかというところ」と答えた方(276人)に)  
 問13 いつ頃移住したいと思いますか。(〇は1つ)

令和3年6月

- ・ すぐにでもしたい 4.3%
- ・ 5年以内をしたい 6.2%
- ・ 10年以内をしたい 14.1%
- ・ 20年以内をしたい 7.2%
- ・ 20年以上先をしたい 5.1%
- ・ 特に決めていない 52.2%

(農山漁村地域に移住してみたいという願望が「ある」、「どちらかというところ」と答えた者に)

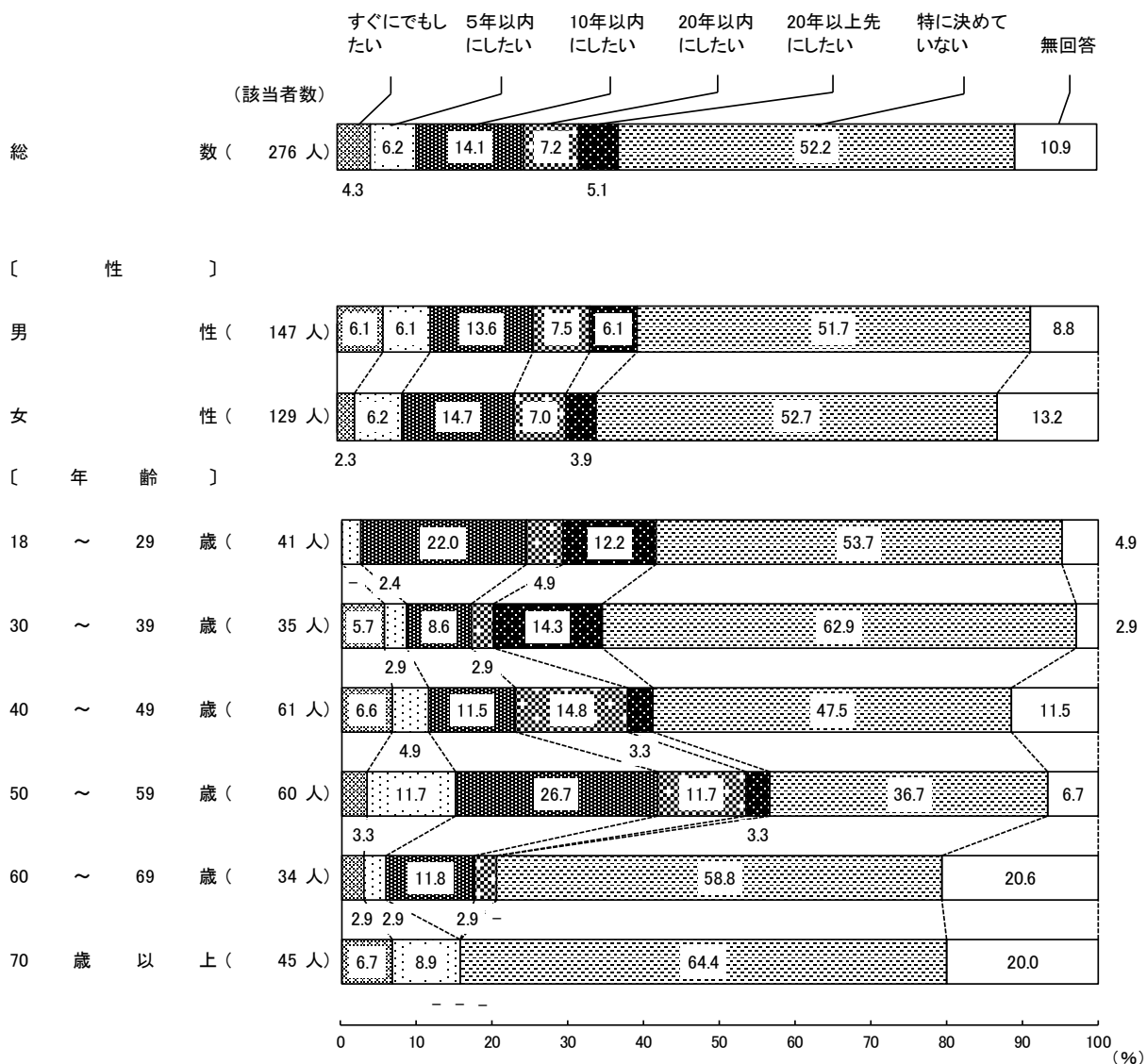


表13－参考 農山漁村地域への定住実現の時期

(農山漁村地域に定住してみたいという願望が「ある」、「どちらかというところ」と答えた者に)

	該 当 者 数	す ぐ に で も し た い	5 年 以 内 に し た い	1 0 年 以 内 に し た い	2 0 年 以 内 に し た い	い 2 0 年 以 上 先 に し た	わ か ら な い
	人	%	%	%	%	%	%
平成26年6月調査	362	8.3	16.9	24.9	18.0	19.6	12.4

(注1) 平成26年6月調査では、「あなたは、いつ頃定住を実現したいと思いますか。この中から1つだけお答えください。」と聞いている。

(注2) 平成26年6月調査では、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和3年6月調査との単純比較は行わない。



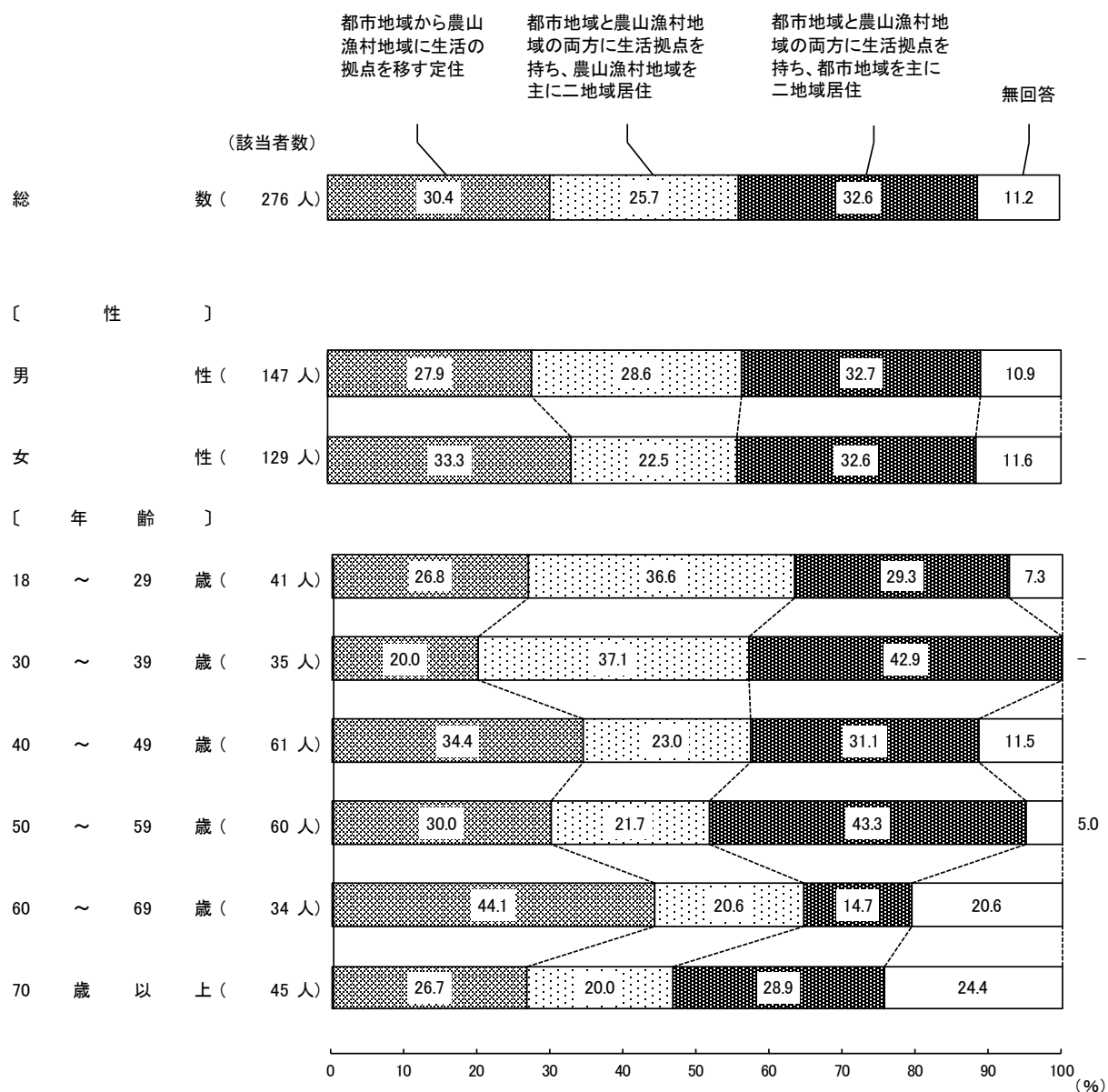
エ 農山漁村地域に移住する場合の形態

(問 11 で「ある」、「どちらかというところ」と答えた方 (276 人) に)  
 問 14 移住するなら、どのような形態でしたいと思いますか。(○は1つ)

令和3年6月

- ・都市地域から農山漁村地域に生活の拠点を移す定住 30.4%
- ・都市地域と農山漁村地域の両方に生活拠点を持ち、農山漁村地域を主に二地域居住 25.7%
- ・都市地域と農山漁村地域の両方に生活拠点を持ち、都市地域を主に二地域居住 32.6%

〔農山漁村地域に移住してみたいという願望が「ある」、「どちらかというところ」と答えた者に〕



## オ 農山漁村地域に移住する場合の仕事

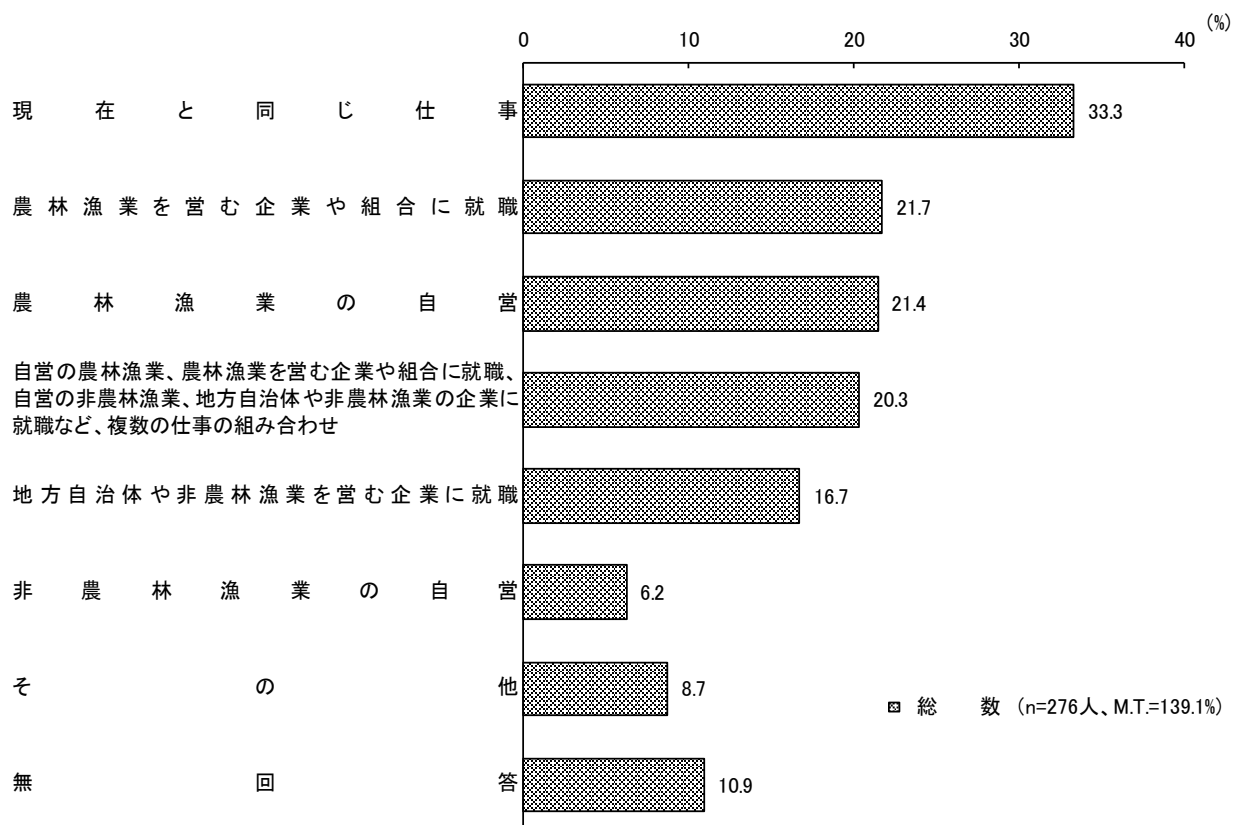
(問 11 で「ある」、「どちらかというところ」と答えた方 (276 人) に)

問 15 農山漁村地域に移住したら、どのような仕事をしたいと思いますか。(〇はいくつでも)

(上位 5 項目)  
令和 3 年 6 月

- ・ 現在と同じ仕事 33.3%
- ・ 農林漁業を営む企業や組合に就職 21.7%
- ・ 農林漁業の自営 21.4%
- ・ 自営の農林漁業、農林漁業を営む企業や組合に就職、自営の非農林漁業、  
地方自治体や非農林漁業の企業に就職など、複数の仕事の組み合わせ 20.3%
- ・ 地方自治体や非農林漁業を営む企業に就職 16.7%

(農山漁村地域に移住してみたいという願望が「ある」、  
「どちらかというところ」と答えた者に、複数回答)



カ 農山漁村地域への移住のために必要なこと

(問 11 で「ある」、「どちらかというところ」と答えた方 (276 人) に)  
 問 16 農山漁村地域へ移住するためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

(上位 3 項目)  
 令和 3 年 6 月

- ・ 家屋、土地を安く購入又は借りられること 68.5%
- ・ 生活が維持できる仕事があること 68.5%
- ・ 医療施設、介護施設や福祉施設の存在 63.0%

〔農山漁村地域に移住してみたいという願望が「ある」、  
 「どちらかというところ」と答えた者に、複数回答〕

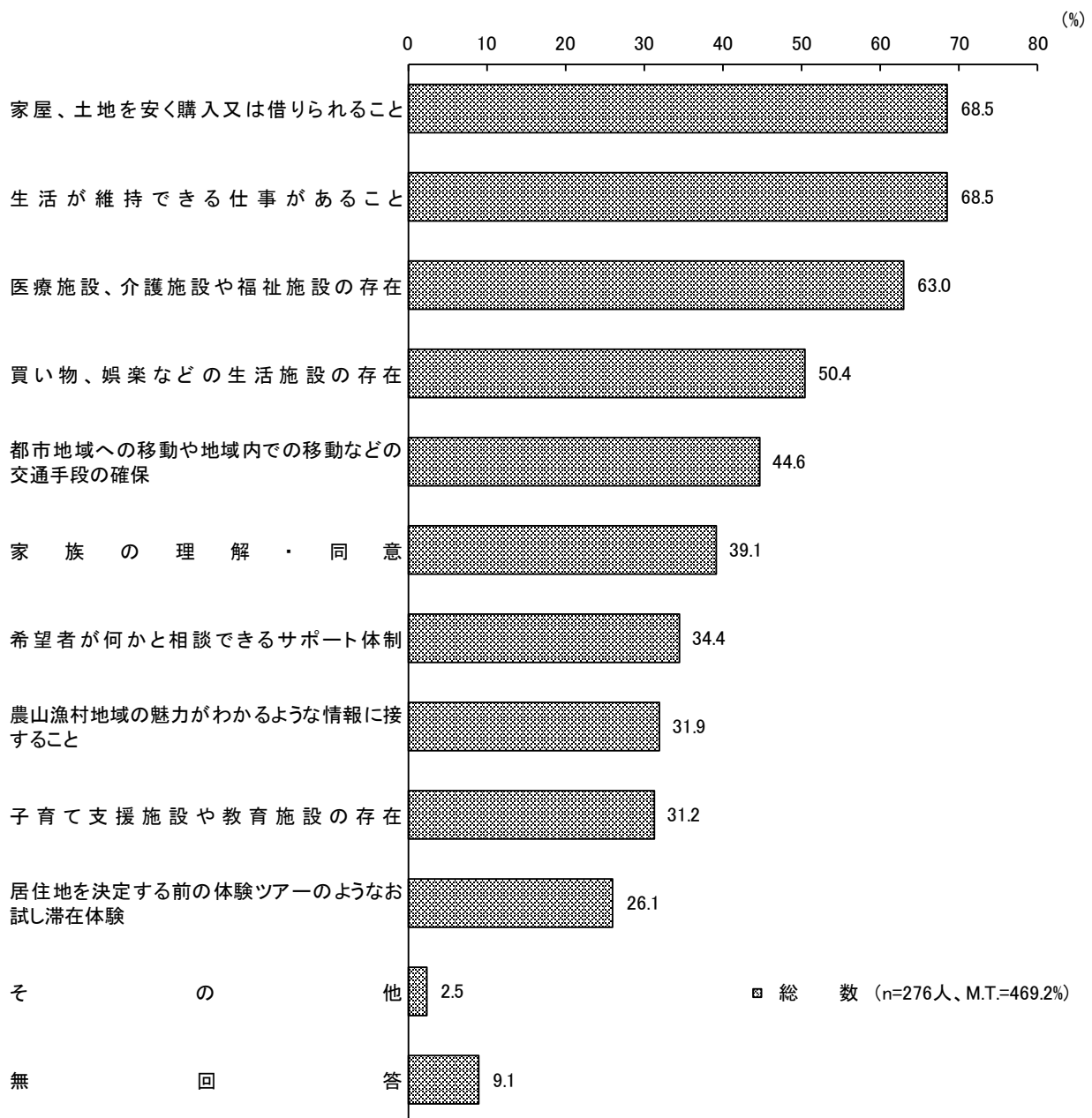


表16-参考 農山漁村地域への定住願望実現のため必要なこと

		（農山漁村地域に定住してみたいという願望がある、「どちらかという」と答えた者に、複数回答）																							
	該当者数	生活が維持できる仕事があること	農山漁村地域で暮らせること	農山漁村地域に必要な家屋、土地を安く購入できること	居住地の決定に必要な情報全般を入手できること	生活していく上で必要な交通手段の確保	家族の理解・同意	介護施設、福祉施設の存在	買い物、娯楽などの生活施設の存在	農山漁村地域に必要な家屋、土地を安く借りられること	希望者が何かと相談できるサポート体制	に農山漁村地域の魅力がわかるような情報に接すること	の保育所等、就学前の子育てを助ける施設の存在	子どもへの教育施設の存在	お試し滞在体験のよう	空き家などの仲介・あっせん	近隣の干渉がなくプライバシーが保てる	医療機関（施設）の整備	農山漁村地域に必要な家屋、土地を安く購入できること	就業に関する情報を入手できること	農山漁村地域に移動するための交通手段	その他	特徴的な	わからない	計 (M.T.)
平成17年11月調査	201	※	※	※	41.3	※	31.8	※	31.8	※	21.4	26.4	※	※	19.4	30.3	8.5	43.8	43.3	36.3	11.4	4.5	2.0	0.5	32.7
平成26年6月調査	362	※	※	※	43.4	39.2	38.7	37.6	37.6	37.3	33.7	33.4	23.8	21.8	21.8	20.4	10.2	※	※	※	※	0.3	1.4	0.6	57.9

（注1）平成26年6月調査までは、「農山漁村地域に定住する願望を実現するには、どのようなことが必要だと思いますか。」と聞いている。

この中からいくつかあげてくさい。」と聞いている。

（注2）平成26年6月調査までは、調査員による個別面接法で実施しているため、令和3年6月調査との単純比較は行わない。

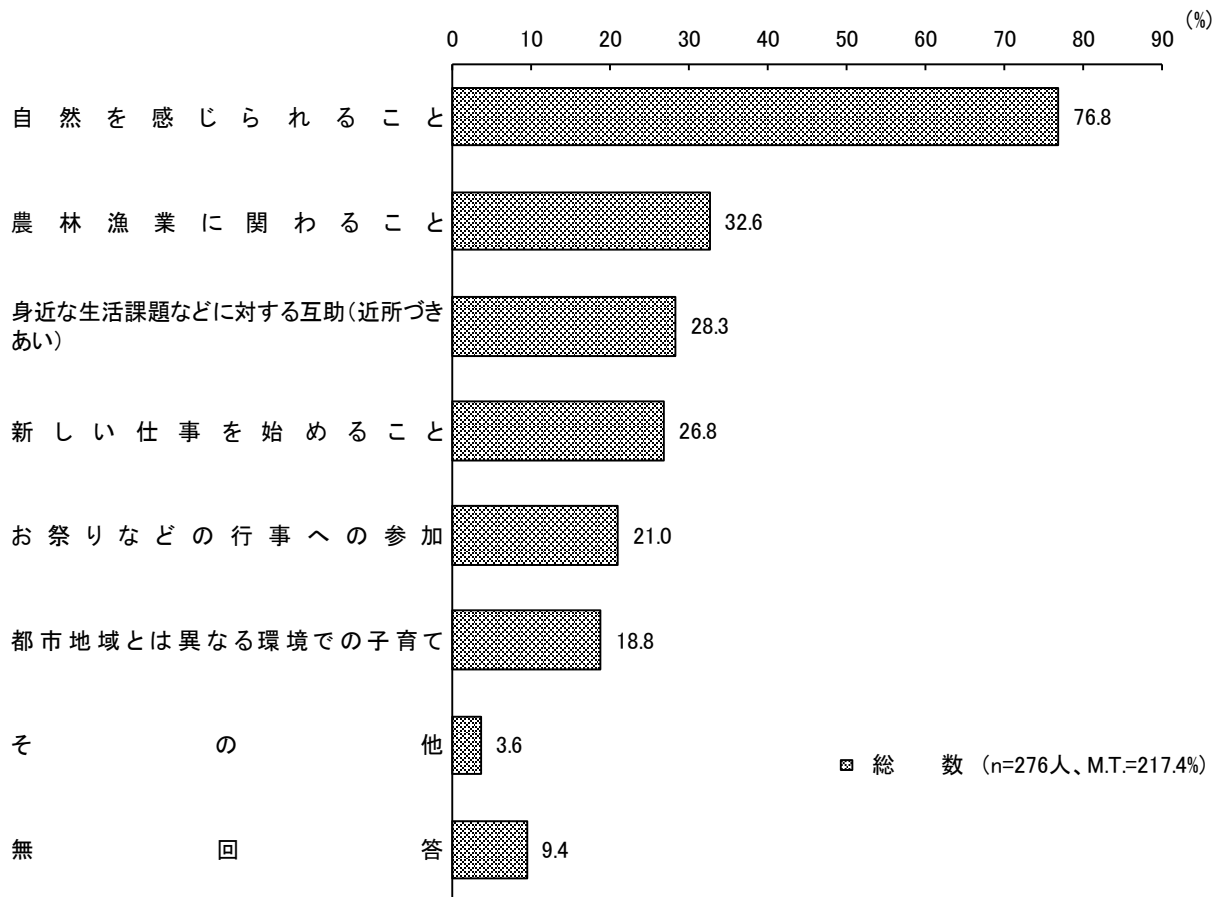
キ 移住する農山漁村地域の生活への期待

(問 11 で「ある」、「どちらかというところ」と答えた方 (276 人) に)  
 問 17 移住しようとする農山漁村地域の生活にどのようなことを期待しますか。(〇はいくつでも)

令和 3 年 6 月

- ・自然を感じられること 76.8%
- ・農林漁業に関わること 32.6%
- ・身近な生活課題などに対する互助(近所づきあい) 28.3%
- ・新しい仕事を始めること 26.8%
- ・お祭りなどの行事への参加 21.0%
- ・都市地域とは異なる環境での子育て 18.8%

〔農山漁村地域に移住してみたいという願望が「ある」、  
 「どちらかというところ」と答えた者に、複数回答〕



ク 都市住民が農山漁村地域に移住することの意識

(問10で「どちらかという農山漁村地域」、「農山漁村地域」と答えた方(611人)に)  
問18 都市住民が農山漁村地域に移住することをどう思いますか。(〇は1つ)

令和3年6月

良いことだ (小計)	89.4%
・良いことだ	43.9%
・どちらかという良いことだ	45.5%
良いことではない (小計)	6.7%
・どちらかという良いことではない	5.6%
・良いことではない	1.1%

(居住地域の認識について「どちらかという農山漁村地域」、「農山漁村地域」と答えた者に)

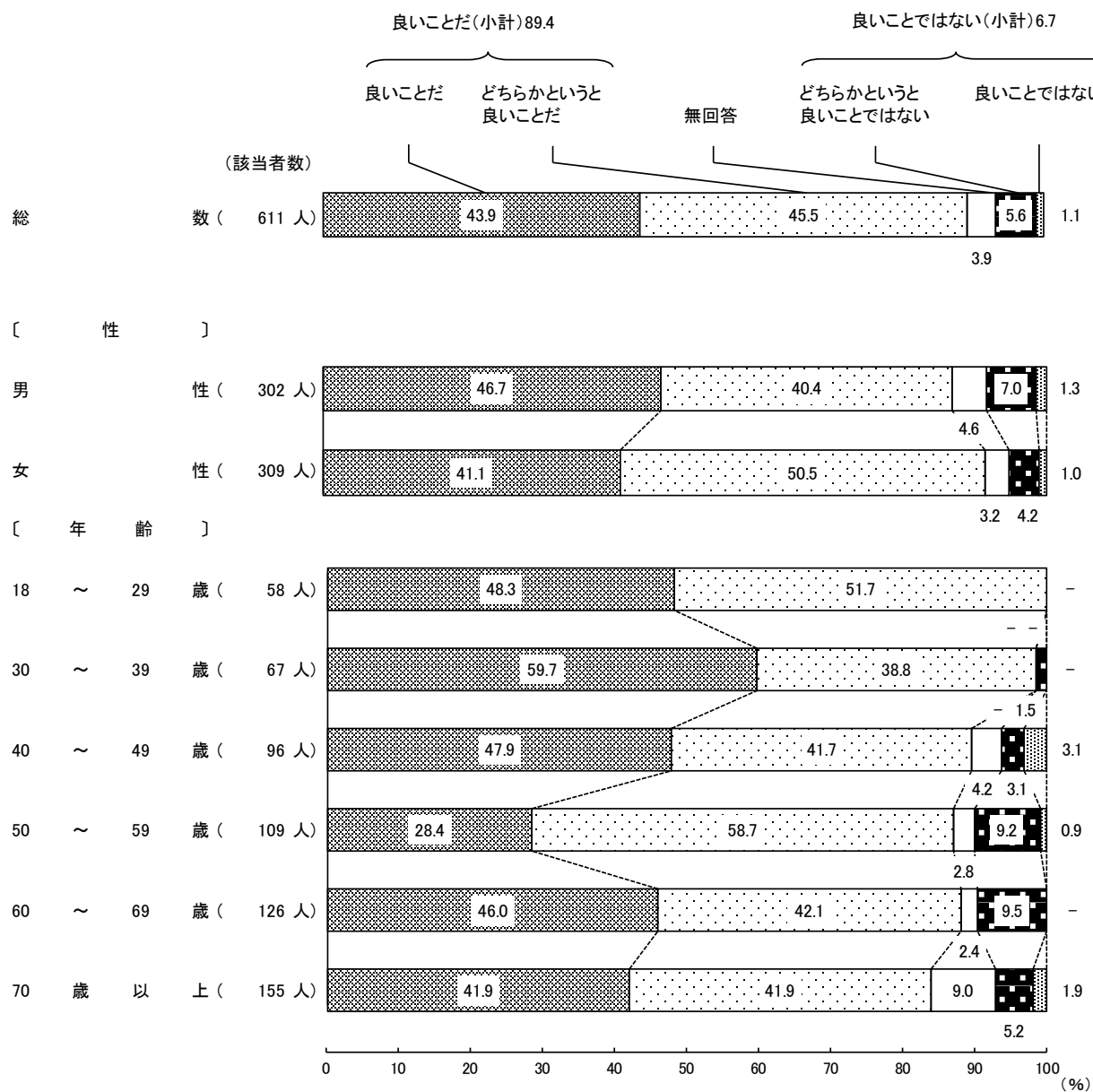


表18－参考 都市住民が農山漁村地域に定住することの意識

(居住地域に関する認識について「どちらかという農山漁村地域」、「農山漁村地域」と答えた者に)

	該 当 者 数	良 い こ と だ と 思 う (小 計)	良 い こ と だ と 思 う	ど ち ら か と い う と 良 い こ と だ と 思 う	良 い こ と だ と は 思 わ な い (小 計)	ど ち ら か と い う と 良 い こ と だ と 思 わ な い	良 い こ と だ と は 思 わ な い	ど ち ら と も い え な い	わ か ら な い
	人	%	%	%	%	%	%	%	%
平成17年11月調査	641	65.7	39.0	26.7	13.3	8.4	4.8	16.5	4.5
平成26年6月調査	700	85.3	46.7	38.6	8.9	6.1	2.7	4.1	1.7

(注1) 平成26年6月調査までは、「あなたは、都市住民が農山漁村地域に定住することをどう思いますか。この中から1つだけお答えください。」と聞いている。

(注2) 平成26年6月調査までは、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和3年6月調査との単純比較は行わない。

ケ 都市住民が農山漁村地域に移住する際の問題点

(問 10 で「どちらかという と農山漁村地域」、「農山漁村地域」と答えた方 (611 人) に)  
 問 19 都市住民が農山漁村地域に移住する際の問題点は何だと思いますか。(〇はいくつでも)

(上位 3 項目)  
 令和 3 年 6 月

- ・都市住民が移住するための仕事がない 56.6%
- ・都市地域への移動や地域内での移動などの交通手段が不便 49.3%
- ・買い物、娯楽などの生活施設が少ない 41.6%

(居住地域の認識について「どちらかという と農山漁村地域」、「農山漁村地域」と答えた者に、複数回答)

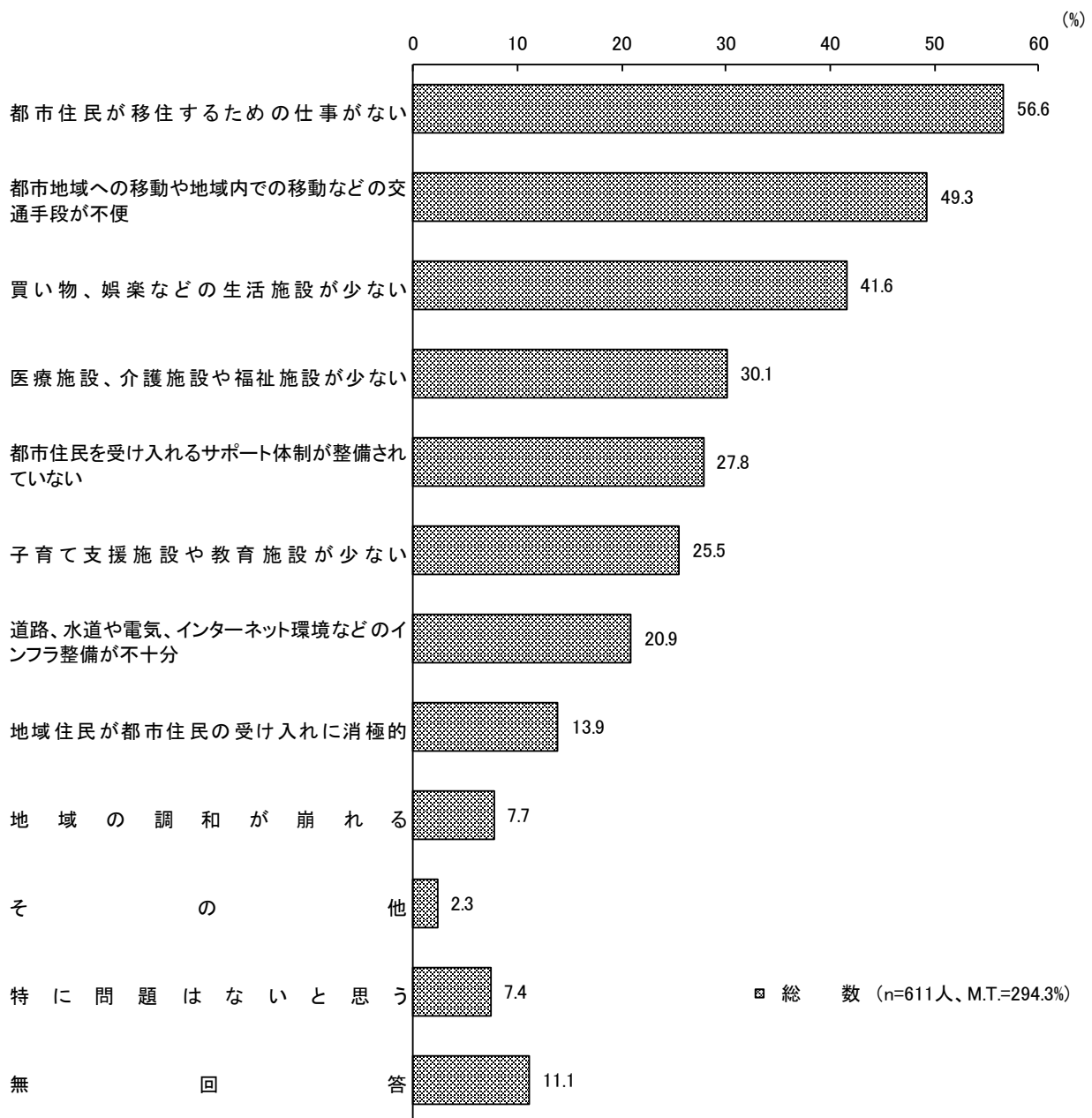




表19-参考 都市住民が農山漁村地域に定住する際の問題点

(居住地域に関する認識について「どちらか」と農山漁村地域、「農山漁村地域」と答えた者に、複数回答)

	該 当 者 数	都 市 住 民 が 定 住 す る た め の 仕 事 が な い	少 買 い 物 、 娯 楽 な ど の 生 活 施 設 が	地 域 内 で の 移 動 の た め の 交 通 手 段 が 不 便	医 療 機 関 ( 施 設 ) が 少 な い	都 市 住 民 を 受 け て い れ る サ ポ ー ト	子 ど も の 教 育 施 設 が 少 な い	保 育 所 等 、 就 学 前 の 子 育 て 環 境 が 不 十 分	介 護 施 設 、 福 祉 施 設 が 少 な い	保 近 所 に 干 渉 さ れ 都 市 住 民 が 思 う シ ー が	地 域 住 民 が 都 市 住 民 の 受 け 入 れ に 消 極 的	十 水 道 や 道 路 、 電 気 等 の 整 備 が 不 十 分	地 域 の 調 和 が 崩 れ る	そ の 他	特 に 問 題 は な い と 思 う	わ か ら な い	計 ( M.T.)	
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平成17年11月調査	641	54.0	26.5	22.3	22.8	30.9	※	※	※	14.7	22.5	※	12.8	0.9	9.4	6.1	222.8	
平成26年6月調査	700	63.0	44.3	44.0	37.0	29.1	25.9	21.3	19.9	17.6	13.1	8.7	5.4	-	5.7	3.0	338.0	

(注1) 平成26年6月調査までは、「都市住民が農山漁村地域に定住する際の問題点は何だと思いますか。この中からいくつでもあげてください。」と聞いている。

(注2) 平成26年6月調査までは、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和3年6月調査との単純比較は行わない。

コ 農山漁村地域に移住してくる都市住民に期待すること

(問 10 で「どちらかという と農山漁村地域」、「農山漁村地域」と答えた方 (611 人) に)  
 問 20 農山漁村地域に移住してくる都市住民に何を期待しますか。(〇はいくつでも)

(上位 4 項目)  
 令和 3 年 6 月

- ・若い世代が地域で子育てすること 48.4%
- ・新たな産業の展開 41.1%
- ・農林漁業への就業 33.1%
- ・身近な生活課題などに対する互助 (近所づきあい) 32.7%

(居住地域の認識について「どちらかという と農山漁村地域」、「農山漁村地域」と答えた者に、複数回答)

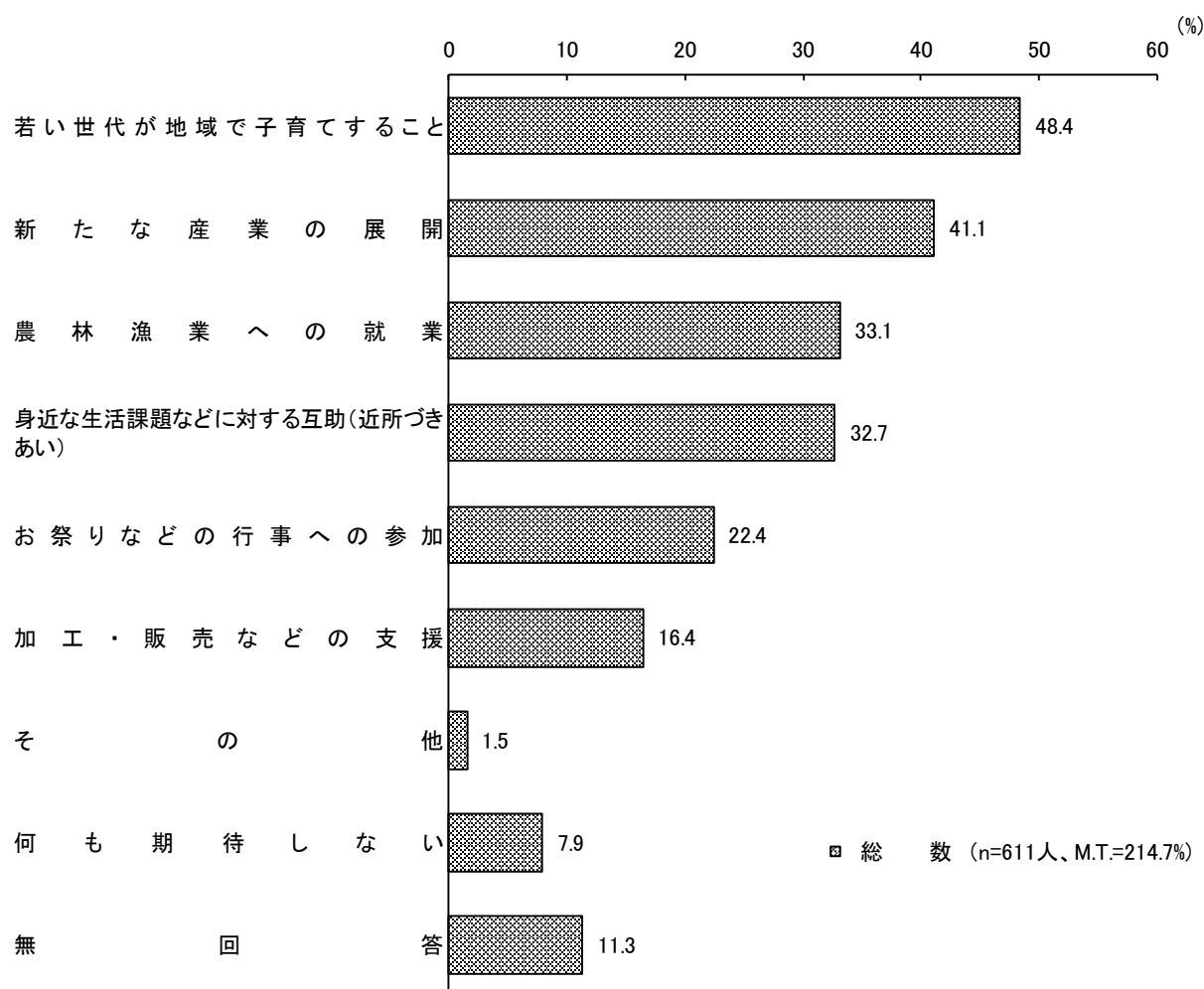


表20－参考 農山漁村地域に移住してくる都市住民に期待すること

(居住地域に関する認識について「どちらかという農山漁村地域」、「農山漁村地域」と答えた者に、複数回答)

	該 当 者 数	若い世代が地域で子育てすること	行事参加などの地域貢献活動	身近な生活課題等に対する互助 (近所づきあい)	新たな産業の展開	農林漁業への就業	加工・販売などの支援	その他	何も期待しない	わかからない	計 (M. T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平成26年6月調査	700	50.4	37.3	31.4	30.4	25.6	12.0	0.3	5.1	3.7	196.3

(注) 平成26年6月調査では、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和3年6月調査との単純比較は行わない。

## サ 農山漁村地域の生活で困っていること

(問 10 で「どちらかという と農山漁村地域」、「農山漁村地域」と答えた方 (611 人) に)  
 問 21 農山漁村地域で生活していく上で困っていることは何ですか。(〇はいくつでも)

(上位 4 項目)  
 令和 3 年 6 月

- ・ 都市地域への移動や地域内の移動などの交通手段が不便 45.3%
- ・ 後継者がいない 42.4%
- ・ 買い物、娯楽などの生活施設が少ない 40.8%
- ・ 仕事がない 34.0%

(居住地域の認識について「どちらかという と農山漁村地域」、「農山漁村地域」と答えた者に、複数回答)

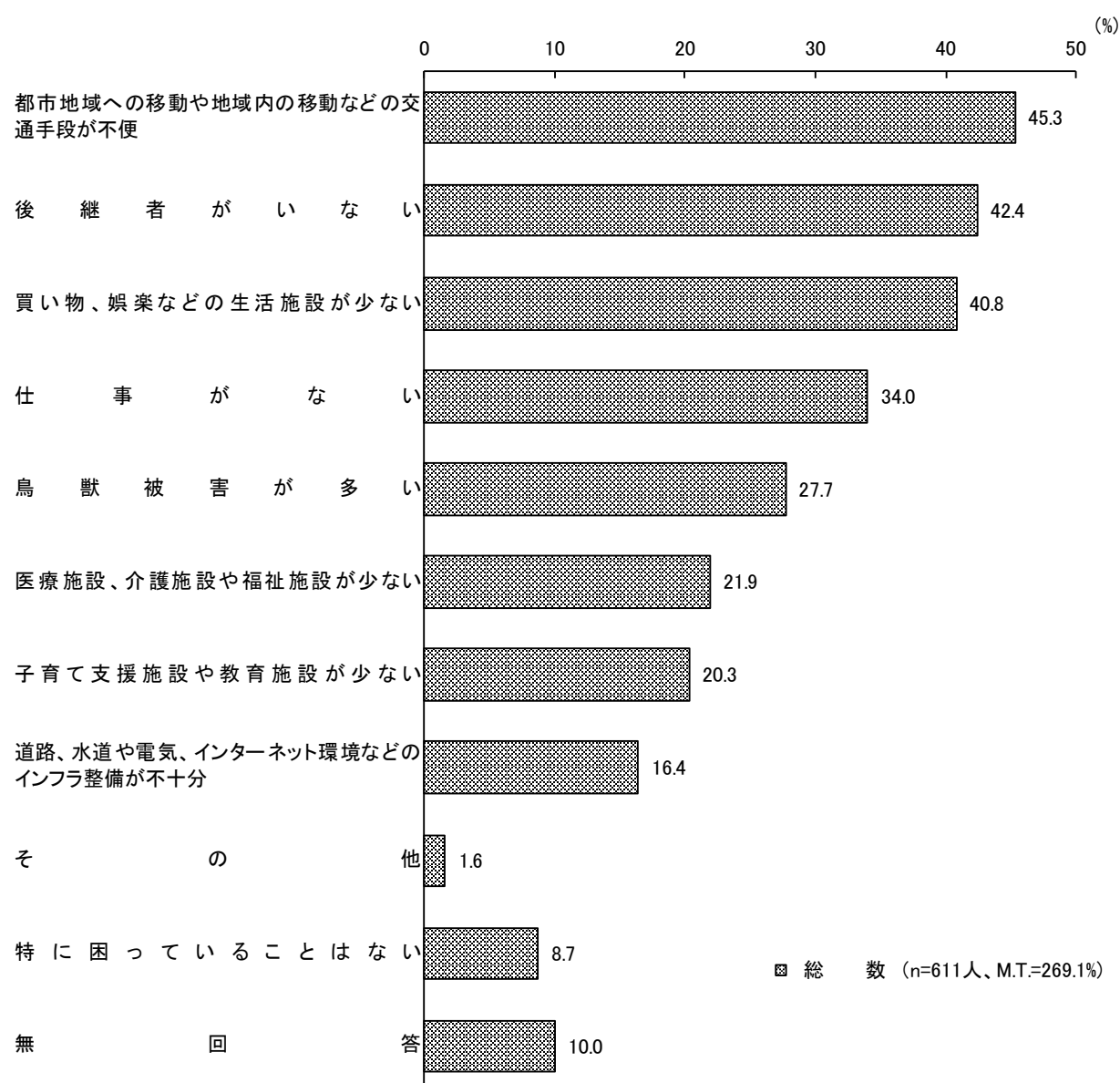


表21－参考 農山漁村地域での生活で困っていること

(居住地域に関する認識について「どちらかという農山漁村地域」、「農山漁村地域」と答えた者に、複数回答)

	該 当 者 数	仕 事 が な い	地 域 内 で の 移 動 の た め の 交 通 手 段 が 不 便	買 い 物 、 娯 楽 な ど の 生 活 施 設 が 少 な い	医 療 機 関 ( 施 設 ) が 少 な い	子 ど も の 教 育 施 設 が 少 な い	介 護 施 設 、 福 祉 施 設 が 少 な い	鳥 獣 被 害 が 多 い	保 育 所 等 、 就 学 前 の 子 育 て 環 境 が 不 十 分	水 道 や 道 路 、 電 気 等 の 整 備 が 不 十 分	そ の 他	特 に 問 題 は な い と 思 う	わ か ら な い	計 ( M. T. )	
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平成26年6月調査	700	32.7	31.7	30.9	27.7	16.9	14.9	14.6	12.6	5.4	0.1	26.0	1.3	214.7	

(注) 平成26年6月調査では、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和3年6月調査との単純比較は行わない。

## シ 農山漁村地域の地域コミュニティに求めること

(問 10 で「どちらかというと農山漁村地域」、「農山漁村地域」と答えた方 (611 人) に)

問 22 農山漁村地域の集落や自治会といった地域コミュニティに求めるものは何ですか。(〇はいくつでも)

(上位 4 項目)

令和 3 年 6 月

- ・地域の信頼感・連帯感の醸成 45.8%
- ・防災・防犯対策 45.7%
- ・高齢者・子どもの見守り 45.2%
- ・公民館、農道、用排水路、共同利用場所などの維持管理 38.5%

(居住地域の認識について「どちらかというと農山漁村地域」、「農山漁村地域」と答えた者に、複数回答)

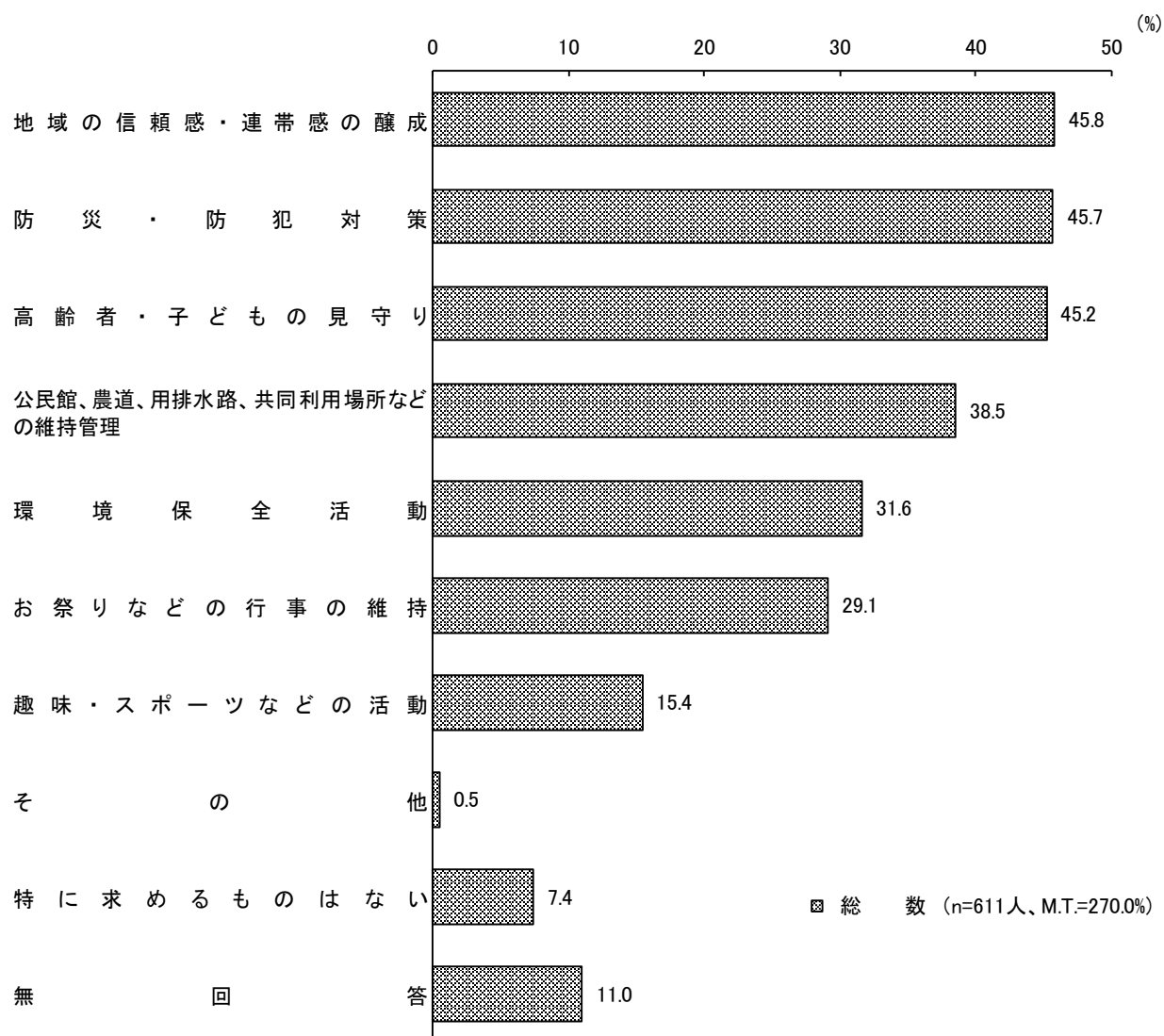


表22－参考 農山漁村地域の地域コミュニティに求めること

(居住地域に関する認識について「どちらかという農山漁村地域」、「農山漁村地域」と答えた者に、複数回答)

	該 当 者 数	高 齢 者 ・ 子 ど も の 見 守 り	地 域 の 信 頼 感 ・ 連 帯 感 の 醸 成	防 災 対 策	お 祭 り な ど 伝 統 行 事 の 維 持	環 境 保 全 活 動	公 民 館 、 農 道 、 用 排 水 路 、 共 同 利 用 場 所 な ど の 維 持 管 理	趣 味 ・ ス ポ ー ツ な ど の 活 動	そ の 他	特 に な い	わ か ら な い	計 (M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平成26年6月調査	700	52.0	46.6	41.4	33.3	30.3	27.6	17.9	-	7.9	1.7	258.6

(注) 平成26年6月調査では、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和3年6月調査との単純比較は行わない。